BAMBOO®



ユーザーズガイド

Bamboo (CTH-470, CTH-670)
Bamboo Pen（CTL-470）
作業環境を整える
タッチ操作
タッチ入力のカスタマイズ
ファンクションキー
ペンを使う
ペンをカスタマイズする
ワイヤレス通信
トラブルシューティング

製品の保証についてのお願い

保証規定をよくお読みになり、お買い上げから 1 年間は保証書を保管してください。保証書に販売店による記入がない場合は、直ちに販売店にお申し出になるか、ご購入時の領収書（またはその写し）を保証書に添付して保管してください。保証書に、販売店による記入も領収書の添付もない場合は、保証書が無効になります。

電波障害自主規制等について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受像器に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

商標について

Wacom、Bamboo は、株式会社ワコムの登録商標です。

その他の会社名、および製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。なお、本文中では「TM」「®」マークを表記しておりません。

著作権について

付属のタブレットドライバの著作権は、株式会社ワコムにあります。

タブレットドライバ、および本書の内容の一部または全部を、無断で複製、転載することは禁止されています。

タブレットドライバを含む本製品の仕様、および本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。

Bamboo ユーザーズガイド
Version 1.0, Rev G1511

上記の年は、このマニュアルが作成された年を示しています。
しかしながら、マニュアルがユーザに公開される日は、該当するワコム製品が市場に導入される時と同時です。

目次

本書について

本書は、Bamboo シリーズの使い方や機能について説明しています。本書に記載される情報は、Windows と Mac コンピュータに共通するもので、特に記載のない限り、Windows の画面を使用しています。

- 目次または索引で項目をクリックすると、その項目に移動することができます。

(ホーム)	表紙へ移動します。
目次	目次のはじめへ移動します。
索引	索引のはじめへ移動します。
(戻る)	1つ前に表示したページに戻ります。
(前へ)(次へ)	ページ番号順に戻ったり、進んだりします。
トピック	トピックへ移動します。
(次へ)	トピックの続きへ移動します。

- ご使用のディスプレイ上でユーザーズガイドのサイズは、PDF ビューアのズームインツールを使用して拡大することができます。ユーザーズガイドの使用や印刷に関して、ほとんどの PDF ビューアの機能で行うことができます。詳しくはビューアソフトウェアのヘルプをご覧ください。
- 「 」で囲まれた文字は、キーボードのキー、ダイアログボックス、コントロールパネルのオプションの名前を特定するのに使用しています。
- タブレットドライバ CD-ROM には、「製品に関する重要なお知らせ」が収録されていますので、必ずお読みください。「製品に関する重要なお知らせ」には、製品安全上のご注意、仕様、およびお客様のライセンス契約書が含まれています。
- お客さまのコンピュータのハードウェアないしオペレーティングシステムに関する情報、またはソフトウェアに関する情報は、本製品には含まれておりません。これらの情報については、ハードウェア、オペレーティングシステム、ソフトウェアに付属するマニュアルおよび CD-ROM または DVD-ROM を参照してください。
- Microsoft Windows 7 および Windows Vista のインク機能に加え、多くのグラフィックソフトでは筆圧機能および消しゴム機能にも対応しています。
これらの機能に対応するソフトウェアについては、ワコムホームページに記載されております。（製品情報をご覧ください）
- 特定のソフトウェアで Bamboo シリーズの機能を最大限に活用する方法については、そのソフトウェアに付属のマニュアルをお読みください。

補足：本書では、タブレットドライバのインストール方法は説明しておりません。製品に付属する「クイックスタートガイド」を参照し、自動ソフトウェアインストーラ（Bamboo タブレットドライバ CD-ROM に収録）をお使いください。

タブレットドライバ、本製品の仕様、および本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。

Bamboo シリーズについて

この章では、Bamboo シリーズの概略を説明します。

- Bamboo シリーズでは、互換性のあるワコム製品のペンまたは入力デバイスのみお使いいただくことができます。旧バージョンのタブレットあるいはペンとの互換性は保証できません。
- 旧バージョンの Bamboo タブレットに付属のペンまたは入力デバイスをお使いいただけるかどうかについては、ワコムのホームページ（http://wacom.jp/jp/customercare/）でご確認ください。また Bamboo シリーズに付属のペンで、他のワコム製品のタブレットや旧 Bamboo をお使いいただくことはできません。

機種の特徴

Bamboo シリーズの各機種には、それぞれ以下のような特徴があります。

機種名	タッチ入力	ペン入力	ファンクションキー
Bamboo（CTH-470、CTH-670）	○	○	○
Bamboo Pen (CTL-470)		○	

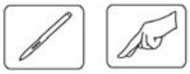
本書では一部のトピック見出しの近くに以下のアイコンが表示されます。そのトピックはタッチ入力またはペン入力についての情報であることを示しています。

- タッチ入力の情報：
- ペン入力の情報：

各機種で共通のトピックにはアイコンは表示されません。

必要に応じて機種固有の補足を記載します。

Bamboo タブレット

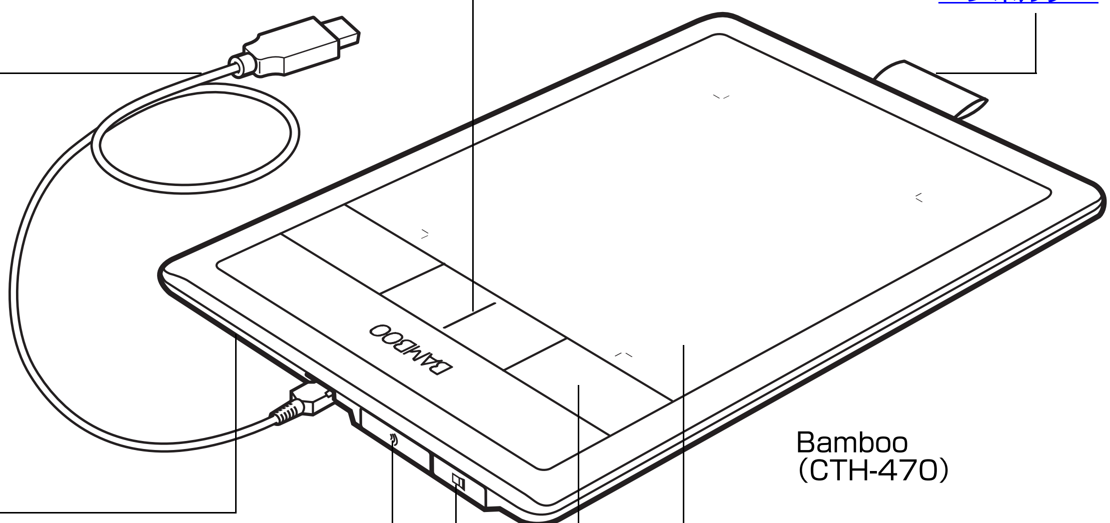


ステータスランプ

Bamboo タブレットが有効な USB ポートに接続されているときに青く光ります。操作エリアにタッチするかファンクションキーを押したときに明るくなります。

タブレットがペンを認識しているときは白く光ります。

ワイヤレス通信については、電池およびワイヤレス通信の状態をご覧ください。



ペンホルダー

USB 接続ケーブル
（取り外し可能）

タブレットを保管したり持ち運ぶ際には、タブレットより取り外してください。また、ケーブルをペンタブレットの周囲に巻き付けないようにしてください。

Bamboo
（CTH-470）

タブレット底面の
電池収納部

ワイヤレスで Bamboo シリーズを使うをご覧ください。

ワイヤレスモジュール収納部

ワイヤレスレシーバー収納部

ワイヤレスで Bamboo シリーズを使うをご覧ください。

操作エリア

ペン入力およびタッチ入力の操作エリアです。
Bamboo シリーズのタッチ機能を使ってみようおよびBamboo シリーズでのペン入力をご覧ください。

ファンクションキー
（カスタマイズ可能）

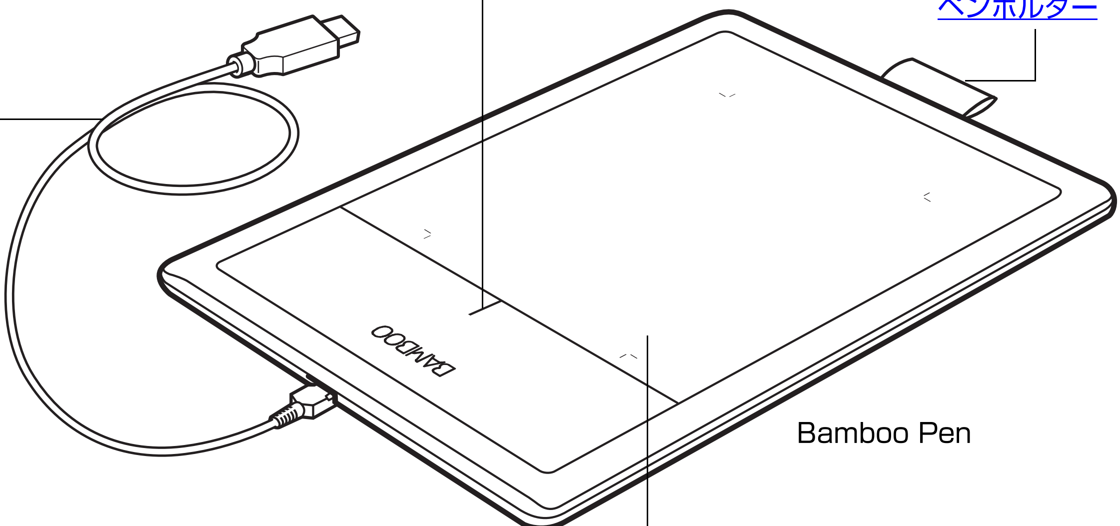
Bamboo Pen タブレット



ステータスランプ
Bamboo が有効な USB ポートに接続されているときに青く光ります。
タブレットがペンを認識しているときは、白く光ります。

ペンホルダー

USB 接続ケーブル
（取り外し可能）
タブレットを保管したり持ち運ぶ際には、タブレットより取り外してください。また、ケーブルをペンタブレットの周囲に巻き付けないようにしてください。

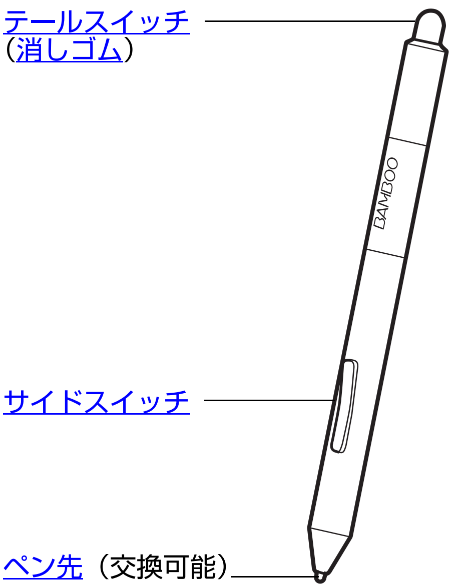


操作エリア
ペン入力用の操作エリアです。Bamboo シリーズでのペン入力をご覧ください。

ペン



補足：• Bamboo Pen 筆圧ペン (LP-170) にはテールスイッチ（消しゴム）は搭載されていませんので
ご注意ください。



ペン

コードレス、電池レスで筆圧機能対応のペンです。画像を編集したり手書き感覚で自由に線を描くことができます。また手書き文字認識や、文書へのアノテーション（書き込み）にも活用できます。Windows7 (Starter を除く)/Vista (Home Basic を除く）上で Office 2007（またはそれ以降のバージョン）のデジタルインク機能を活用すると、文書作成におけるワークフローの向上に役立ちます。デジタルマークアップによって共同で編集作業を行ったり、デジタルインクによって文書にメモを書き込むことができます。

重要：ペンを使用しないときは、ペンホルダーに収納するか、または机の上に横にして置いてください。ペンホルダーに入れるときは、テールスイッチ（消しゴム）から先に入れてください。ペンの感度を維持するために、ペン先やテールスイッチが押されてしまうような入れ物には収納しないでください。

ペンをタブレット上に置いたままにすると、通常のマウスなど他のデバイスを使用する際に画面のポインタの移動ができなくなったり、コンピュータがスリープ状態に入るのを妨げたりする場合があります。

ペンホルダー

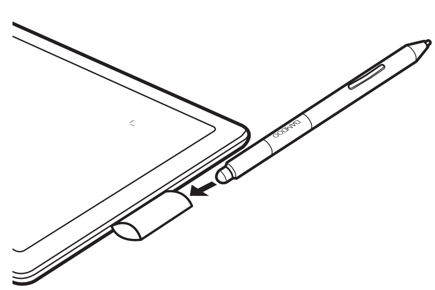


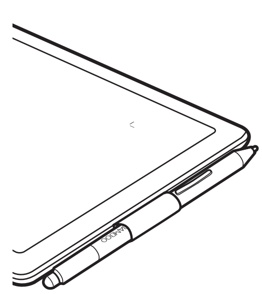
ペンを使用しないときは、ペンホルダーに収納してください。

- テールスイッチ（消しゴム）側からペンホルダーに差し込んでください。
- ペンを収納するとき、サイドスイッチがペンホルダー内に入った状態で収納しないでください。サイドスイッチが常に押された状態になり、故障する可能性があります。

重要：ペンは、机の上に横にして置いておくこともできます。ペンをタブレット上に置いたままにすると、通常のマウスなど他のデバイスを使用する際に画面のポインタの移動ができなくなったり、コンピュータがスリープ状態に入るのを妨げたりする場合があります。

Bamboo シリーズのペンホルダー以外を使わないでください。通常のペンスタンドにペンを立てておくと、ペンが倒れて傷む場合があります。また、ペン先やテールスイッチが押されてしまうような入れ物に収納しないでください。ペンが故障する原因となります。





姿勢と作業環境を整える

疲労が軽減するように、作業環境を整えて楽に作業できるようにしてください。タブレット、ペン、キーボードを手の届きやすい場所に配置してください。目を疲れさせずに、楽に見ることができるようにディスプレイを調整してください。画面のポインタがタブレット上の手の動きと同じ方向へ移動するようにタブレットを置いてください。

正しい姿勢

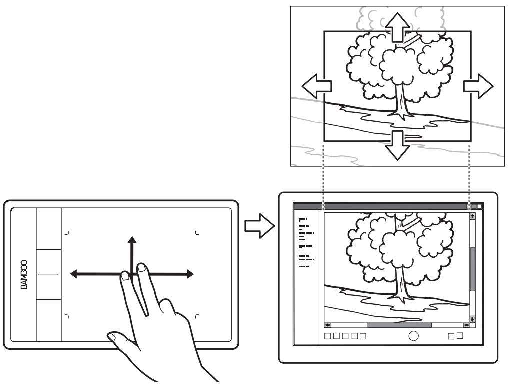


以下の項目にご注意ください。

- 常に良い姿勢を保ってください。
- ペンを持つときはなるべく力を抜いてください。
- 目の健康のため、一定の時間ごとにディスプレイから目を離して、室内の他のものを眺めるようにしてください。
- 作業の合間に休憩をとり、筋肉を伸ばしたり、リラックスさせてください。
- 1 日のうちで性質の異なる作業を入れ替えて行ってください。作業姿勢に不快感を感じたら、姿勢を変えてください。
- 不快感を伴う不自然な姿勢や、反復動作を控えてください。
- 右手で使う場合は、操作エリアがファンクションキーの右側に来るようにタブレットを置いてください。タブレットを通常のマウスの代わりに使う場合は、キーボードの右に置くことをおすすめします。
- 左手で使う場合は、操作エリアがファンクションキーの左側に来るようにタブレットを置いてください。タブレットの向きを設定する をご覧ください。タブレットを通常のマウスの代わりに使う場合は、キーボードの左に置くことをおすすめします。
- タブレットで絵を描いたり、写真を加工したりする場合は、タブレットをキーボードの手前、ディスプレイに対して中央に置くことをおすすめします。

補足：Bamboo シリーズが原因と思われる反復性ストレスの徴候、障害、あるいは症状についての治療や予防の説明、約束、保証はいたしかねます。必ず医師の診断を受け、適切な処置をとるようにしてください。

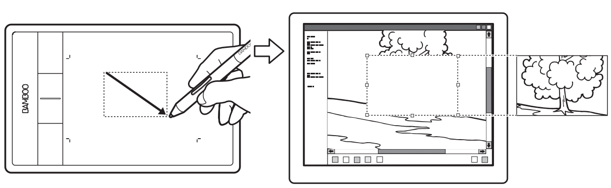
Bamboo シリーズは、日常の様々なシーンで便利にお使いいただけます。以下の活用例をご覧ください。



画像閲覧

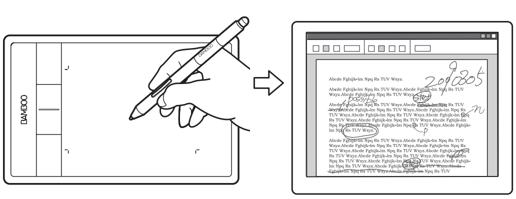
タブレット上で 2 本の指を使って、ソフトウェア内の画像をスクロールしたり、移動したりします。





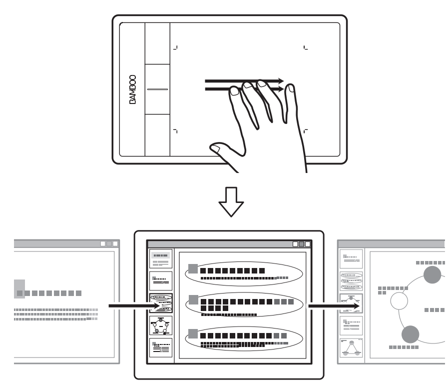
画像編集

ペンを使って、画像編集ソフトウェアの中で絵や写真を編集します。



アノテーション（書き込み）

ペンを使って文書にマーキングや注釈をつけることで、文書レビューが簡単になります。



プレゼンテーション

タブレットの操作エリアを 3 本の指でスワイプすることで、プレゼンテーションのスライドを素早くめくることができます。

これらを含めたタブレットの使い方に関する詳細については、 Bamboo シリーズのタッチ機能を使ってみようまたは Bamboo シリーズでのペン入力をご覧ください。

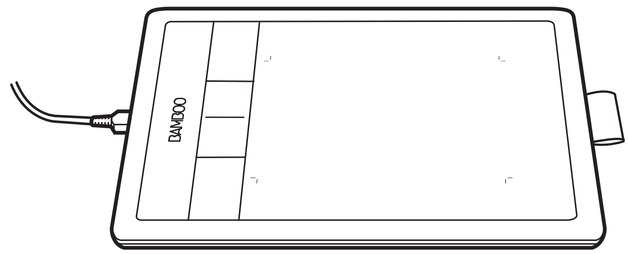
タブレットの向きを設定する

タブレットドライバのインストール中に、タブレットの向きを選択するよう求められます。
ここで選択した向きが、タブレットの標準設定となります。

しかし、左利きまたは右利きのユーザに合わせて、いつでもタブレットの設定を変更することができます。利き手の設定を変更すると、自動的にファンクションキーの設定が変更されます。

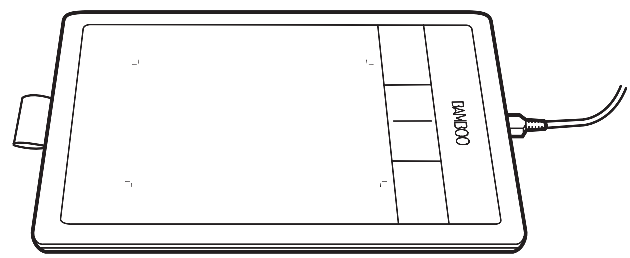
右利き用

- コントロールパネルを開いて、「タブレット」タブを選択します。「右手用」を選択します。右利き用に自動的にタブレットの設定が調整されます。
- 次に、タブレットの向きを変えて、ファンクションキーが左側に配置されるようにします。



左利き用

- コントロールパネルを開いて、「タブレット」タブを選択します。「左手用」を選択します。左利き用に自動的にタブレットの設定が調整されます。
- 次に、タブレットの向きを変えて、ファンクションキーが右側に配置されるようにします。



補足： この操作により標準設定が変更されることはありません。このためログオンおよびユーザの切り替え画面では、タブレットドライバのインストール時に選択した向きでのご使用になります。標準設定としてのタブレットの向きを変えたい場合は、タブレットドライバを再インストールしてください。

タブレットの操作エリアについて

Bamboo シリーズは、機種によってペン入力、またはタッチ入力とペン入力を行うことができます。タッチ入力とペン入力は同時に行うことはできません。

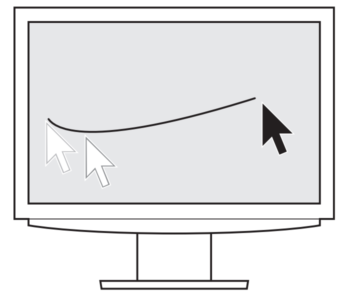
タッチ入力

タッチ入力に対応したタブレットでは、タブレットの操作エリア上で指をスライドさせてディスプレイ画面のポインタを動かすことができます。

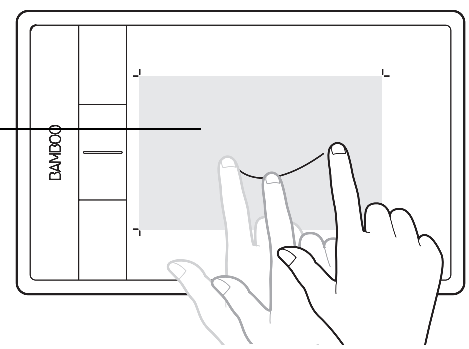
ほとんどの Web ブラウザや文書 / 写真ビューワでは、ページの移動を行います。

ソフトウェア間の移動、およびその他のデスクトップ機能を行います。

「Bamboo シリーズのタッチ機能を使ってみよう」をご覧ください。



タブレット操作エリア



タッチ入力またはペン入力を検出するタブレットの操作面の領域を指します。

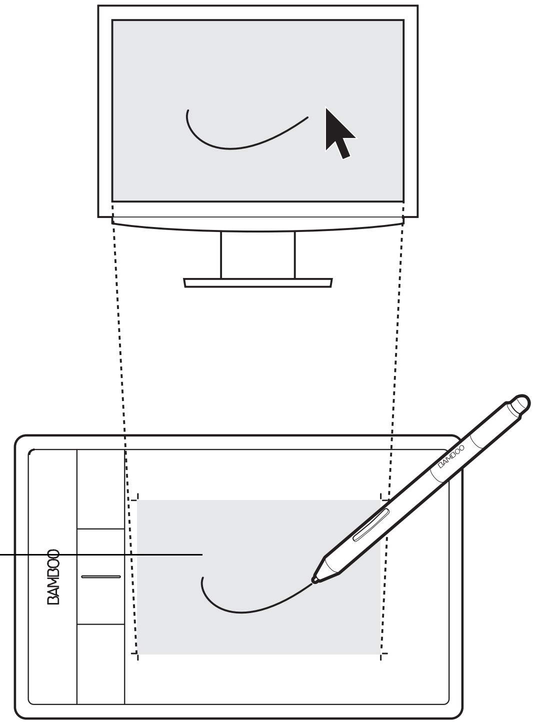
ペン入力とタッチ入力の両方に対応するタブレットでは、ペン先またはテールスイッチ（消しゴム）がタブレットの検出範囲内にある場合、タッチは無効になります。タブレットの操作エリアからペンを離すと、タッチ入力ができるようになります。

ペン入力

タブレットにペンを置くと、ポインタは画面の対応する場所にジャンプします。画面のポインタはペンの位置を示し、タブレット操作面のペンの動作に従います。

「Bamboo シリーズでのペン入力」をご覧ください。

補足：操作エリアはコンピュータ画面の表示域に割り当てられます。標準設定では、画面全体、またはディスプレイが複数ある場合はすべてのディスプレイに割り当てられています。タブレット操作エリアとディスプレイのマッピングを設定するには、「タブレットの座標検出」をご覧ください。



タブレット操作エリア

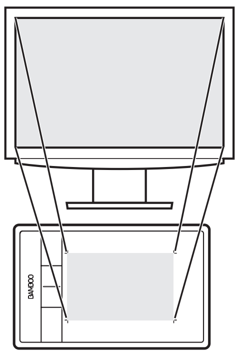
タッチ入力またはペン入力を検出するタブレットの操作面の領域を指します。

ペン入力とタッチ入力の両方に対応するタブレットでは、ペン先またはテールスイッチ（消しゴム）がタブレットの検出範囲内にある場合、タッチが無効になります。タブレットの操作エリアからペンを離すと、タッチ入力ができるようになります。

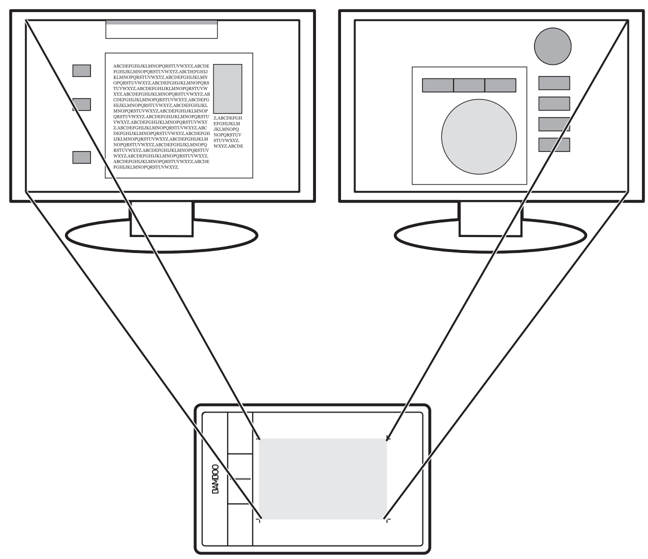
マルチディスプレイへのマッピング

お使いのコンピュータに複数のディスプレイが接続されている場合、「画面のプロパティ」ダイアログで設定されている内容に基づいて、Bamboo シリーズはディスプレイとマッピングされます。

- 複数のディスプレイが設定されている環境で拡張ディスプレイモードをお使いの場合、タブレットは複数のディスプレイを 1 つの大きなディスプレイとしてディスプレイ全体にマッピングします。



この例では、タブレットとディスプレイが 1 対 1 でマッピングされています。



この例では、タブレットがディスプレイ全体に対してマッピングされている状態をあらわしています。画面は 2 つのディスプレイに表示されています。

- ミラーモードをお使いの場合、タブレットは各ディスプレイのスペース全体に割り当てられ、ポインタも各ディスプレイに同時に表示されます。

複数ディスプレイでのご利用について、コンピュータとオペレーティングシステムの設定に関する詳細については、コンピュータ本体とオペレーティングシステムの取扱説明書をご覧ください。

ヒント： 1 つのディスプレイや、ディスプレイ領域の一部分に割り当てるように、タブレットをカスタマイズすることもできます。タブレットの座標検出をご覧ください。

システムが複数のディスプレイで構成されている場合、「マッピング画面切り替え」機能をファンクションキーに割り当てます。これにより、メインのディスプレイと他のディスプレイ間で、タブレットのマッピングを切り替えることができます。マッピング画面切り替えを使うをご覧ください。

コントロールパネルの使い方

タブレットの基本的な使い方を習得したら、Bamboo シリーズでのタッチ入力やペン入力の操作方法をカスタマイズしたいと思われるでしょう。コントロールパネルでは、そのような Bamboo シリーズの設定のカスタマイズを行います。

コントロールパネルを開く
コントロールパネル概要

Bamboo シリーズを使う

Bamboo シリーズのタッチ機能を使ってみよう



Bamboo シリーズは、作業をより効率よく行えるように設計されています。タッチ入力は、タブレット上で指を動かすだけで、コンピュータを操作できます。

初めに基本操作を学び、ポインタの操作や通常のマウス操作を行うことができるようにします。次に、ジェスチャー操作を習得して、スクロール、ズーム、回転のような操作が行えるようにします。

タブレットの操作エリアを指で触れると、タッチ入力が可能になります。

- 複数の指を使って入力する場合、指を操作しやすい間隔に開いてください。
  このときすべての指は必ず操作エリア内に置いてください。指同士をぴったりとくっつけてタブレットに置くと、1 本の指を使った操作と判断されたり、操作やジェスチャーがどの指で操作されたのかを識別しにくくなることもあります。
- いろいろな操作方法を習得したら、もっとも操作しやすい方法でタッチ入力を行ってみてください。
  入力時には、不用意なタッチを避けるように注意してください。例えば、タッチ入力中に小指や手のひらが操作エリアに触れた場合、入力が中断したり、不要な右クリックが実行されたりすることがあります。

補足： ペン入力とタッチ入力の両方が操作可能なタブレットについて、ペン先またはテールスイッチ（消しゴム）がタブレットの検出範囲内にある場合、タッチ入力を行うことはできません。タブレットの操作エリアからペンを離すと、タッチ入力ができるようになります。

タッチによる操作



Bamboo シリーズのタッチ入力機能により、タブレットの操作エリア上で指を動かすだけでコンピュータを操作することができます。「タブレットの操作エリアについて」をご覧ください。

タッチ入力でコンピュータを操作する方法を学ぶ前に、タッチ入力の説明で使われる用語を説明します。

用語	説明
トラック	1 本の指を操作面に置き、そのまま指を移動させます。
タップ	1 本の指を操作面に置き、指を少し持ち上げてから操作面を一回軽くたたきます。2 本の指で軽くたたいて各種機能を実行します。
パン	軽く広げた 2 本の指を操作面に置き、そのまま指をそろえてスーッと滑らせます。
スワイプ	やや閉じ気味の 3 本または 4 本の指を操作面に置き、左右または上下にスーッと滑らせます。
ピンチ	やや閉じ気味の２本の指をほぼ同時に操作面に置き、広げておいた２本の指を「つまむ」ように近づけます。
エクスパンド	やや閉じ気味の２本の指をほぼ同時に操作面に置き、指の距離を広げます。
ツイスト	軽く広げた２本の指を操作面に置き、両指をスムースに左回りあるいは右回りに移動させます。 片方の指を軸にし、他方の指を操作面にあてたまま回転方向に移動させます。

タッチ入力をカスタマイズすることができます。ファンクションキーでタッチの機能を実行することもできます。

補足：チュートリアルでは「Bamboo のタッチ機能を使ってみよう」で以下の操作を説明しています。
トラック・・・ポインタの動かし方
タップ・・・オブジェクトを選択する方法
パン・・・移動やスクロールする方法
スワイプ・・・[進む][戻る] を操作する方法
ピンチ／エクスパンド・・・ズームする方法
ツイスト・・・回転する方法

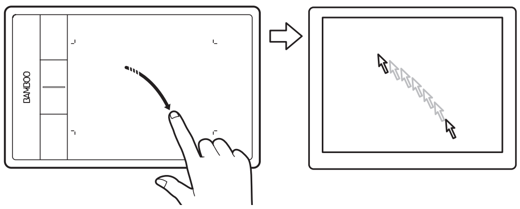
タッチ入力オプションは、コントロールパネルでオン／オフを切り替えることができます。
タッチの動作とジェスチャーは、タッチ機能タブで各項目にチェックを入れた場合に入力が可能になります。

- 基本的な動作で、ポインタの移動や一般的なマウスの機能を実行することができます。
- ジェスチャーを使ってスクロール、ズーム、回転などの機能を実行できます。ジェスチャーによっては、タブレットにジェスチャーが認識されたことを知らせる視覚表示が、表示画面に表れます。

チェックを外し、タッチ操作を無効にしてください。



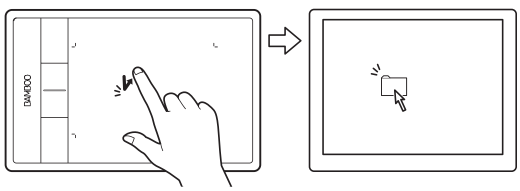
1 本指での操作



トラック

1 本の指で画面上のポインタを操作します。
指をタブレットの操作面に置いて、スライドさせます。

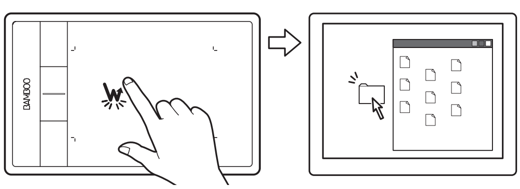
タップでクリック



クリック（1 本指でタップ）

1 本の指で画面上の項目までトラックします。ここで指を持ち上げた後タップし、選択します。

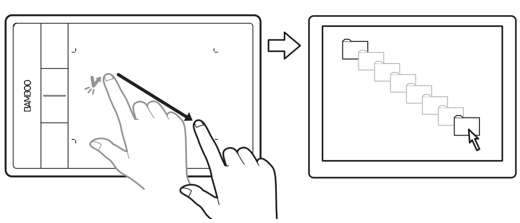
あるいは、指を項目までトラックし、次に「クリック」に設定したファンクションキーを押します。



ダブルクリック

1 本の指で画面上の項目までトラックします。一度離してもう一度タップします。

ドラッグ



選択とドラッグ（「ドラッグに固定」がオフの場合）

1 本の指で画面上の項目をタップして選択します。再び指を素早くタブレットの操作面上に置き、トラック（スライド）してドラッグします。指を持ち上げて、項目から離します。

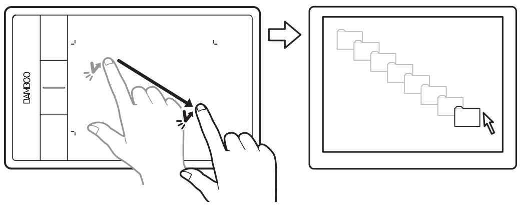
他の方法で、項目をドラッグすることもできます。「クリック」に設定されたファンクションキーを押し、次にタブレットの操作面で指を移動させます。項目を離すには、ファンクションキーを離します。

ヒント：デスクトップ上では複数の項目を選択し、ドラッグできます。

- Windows の場合：複数の項目を選択する場合、タップしながら「Ctrl」または「Shift」キーを押します。
- Mac の場合：複数の項目を選択する場合、タップしながら「Shift」あるいは「command」キーを押します。

２本の指で「選択とドラッグ」を行うこともできます。

ドラッグに固定

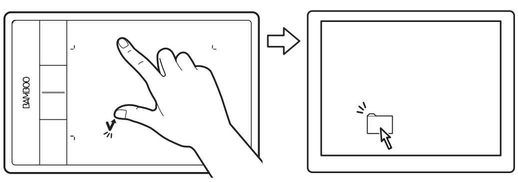


ドラッグロック（「ドラッグに固定」がオンの場合）

1 本の指で画面上の項目をタップして選択します。ドラッグするには、タブレット上で指をトラック（スライド）します。再度、タップして項目を離します。

2 本指での操作、およびジェスチャー

2 本目の指のタップでクリック



選択とドラッグ

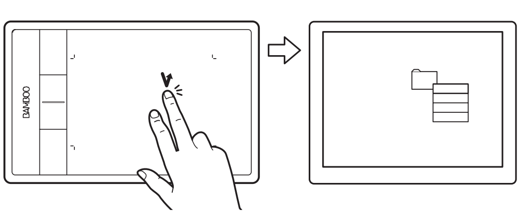
1 本の指で画面上の項目までトラックします。親指または 2 本目の指をその左側に置き、選択します。続けて項目をドラッグしたりテキストブロックを選択したりする場合は、親指以外の２本の指で操作することをおすすめします。

- 選択した項目を移動するには、２本の指をそのままタブレット上で動かします。
- テキストブロックをハイライトさせるには、２本の指をそのままタブレット上で動かしてテキストを選択します。
- ドラッグの途中で操作エリアの端に行き着いた場合、選択を解除せずにドラッグを延長することもできます。そのためには、１本目の指を持ち上げてから、ドラッグを続けやすい位置に２本目の指を動かします。１本目の指を再びタブレットに置き、両方の指で続けてドラッグします。

選択を解除するには、親指または 2 本目の指を持ち上げます。

補足：タブレットを左利き用に設定している場合、１ 本目の指の右側に 2 本目の指を置きます。

2 本目の指のタップで右クリック



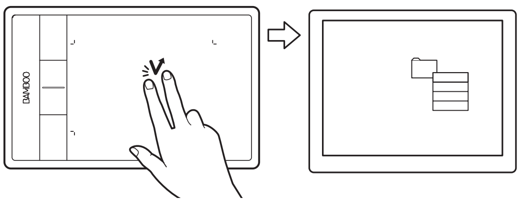
右クリック

1 本の指を使って画面上の項目までトラックします。次に 2 本目の指をその右側に置き、離します。指を離すと右クリックが実行され、ポインタの位置にコンテキストメニューが表示されます。

メニューのオプションまで指をトラックし、タップして項目を選択します。

補足：タブレットを左利き用に設定している場合、１ 本目の指の左側に指を置きます。

タップで右クリック



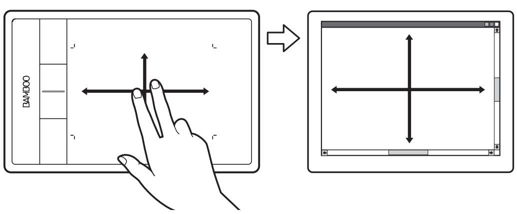
右クリック（2 本指でタップ）

右クリックして、画面上のポインタの位置にコンテキストメニューを表示させるには、2 本の指を少しだけ離してタブレットの操作面をタップします。両方の指でタップの動作を、素早く、指をそろえて同時に行います。

次に、メニューのオプションまで指をトラックし、タップして項目を選択します。

あるいは、指を項目までトラックして、次に「右ボタンクリック」に設定したファンクションキーを押して、コンテキストメニューを開きます。

スクロール



スクロール

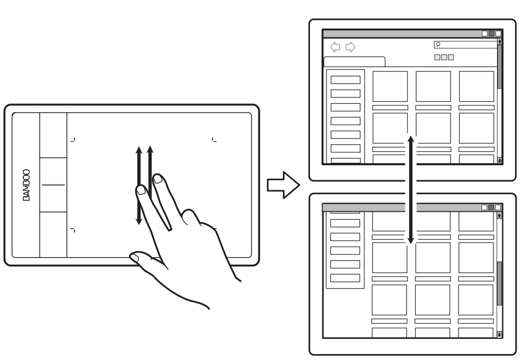
2 本の指をタブレットの操作面に置きます。指を同時にゆっくりと平行移動させます。

- 上方向へ指をスライドさせると、画面の上方向へファイルがスクロールします。
- 下方向へ指をスライドさせると、画面の下方向へファイルがスクロールします。
- 左方向へ指をスライドさせると、画面の左方向へファイルがスクロールします。
- 右方向へ指をスライドさせると、画面の右方向へファイルがスクロールします。

ヒント：最後に指をフリックさせると、指がタブレットを離れた後、ほんの短いスクロールが続きます。

縦と横にスクロールする Windows では、指をどの方向にスライドさせてもドキュメントの表示はそれに従います。

上方向へのスクロールだけにしたい場合は、コントロールパネルの「タッチ機能」タブを選択して「スクロール」ドロップダウンメニューから「縦」を選択します。



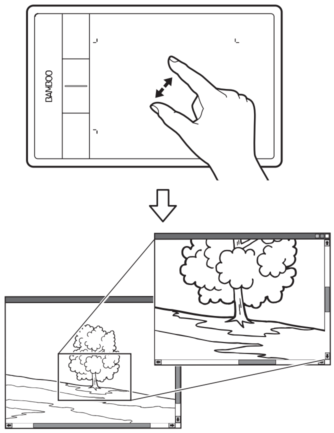
ファストスクロール

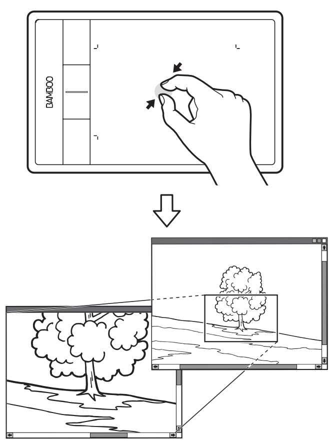
2 本の指を同時に素早く動かし（あるいはフリックし）、動作の終りに指を上へ持ち上げます。

- 上方向へ指をフリックして、スピードをつけてスクロールします。
- 下方向へ指をフリックして、スピードをつけてスクロールします。

補足：ファストスクロールは、垂直スクロールに対してのみ有効です。

ズーム





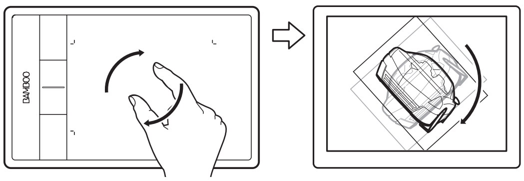
ズーム

初めに、タブレット操作面に 2 本の指を置きます。

- 1つの指ともう1つの指の間が徐々に広がるように、拡大操作を行います。
- 1つの指ともう1つの指でつまむようなかたちをつくって、指同士が徐々に近づくように縮小操作を行います。

補足：ズーム機能が Adobe Photoshop で正しく動作しない場合、「編集」メニュー→「環境設定」→「一般」を選択し、ウィンドウから「スクロールホイールでズーム」のチェックがはずれていることを確認します。

回転

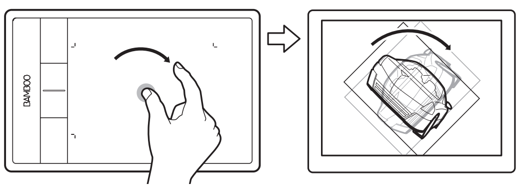


回転（2 本指での回転）

タブレット操作面に２本の指を斜めに離して置き、時計回りあるいは反時計回り方向に回転させせます。

このジェスチャーをタブレットに正しく認識させるために、２本の指を斜めに約２５ mm 以上離してからタブレット操作面に置き、回転中もその間隔を維持してください。

補足： 回転によるジェスチャーは、使用中のソフトウェアによって動作が異なります。たとえば、90 度ずつ回転する場合があります。あるいは、全く回転しない場合もあります。



回転（指を軸にして回転）

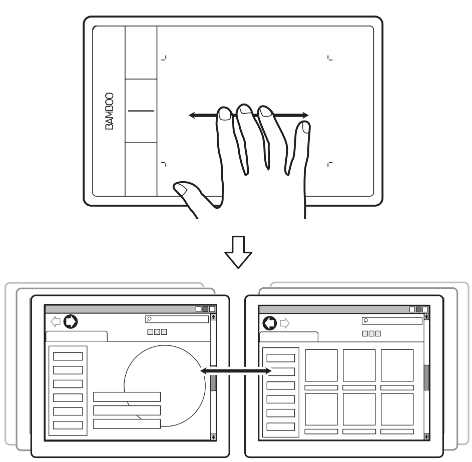
タブレット操作面に２本の指を斜めに離して置きます。
１本の指を固定して、もう１本の指をそのまわりで回転させせます。

このジェスチャーをタブレットに正しく認識させるために、２本の指を斜めに２５ mm 以上離してからタブレット操作面に置き、回転中もその間隔を維持してください。

補足： 回転によるジェスチャーは、使用中のソフトウェアによって動作が異なります。たとえば、90 度ずつ回転する場合があります。あるいは、全く回転しない場合もあります。

３本指でのジェスチャー

左右スワイプによるページ移動



「進む」または「戻る」（右あるいは左へのスワイプ）

３本の指を少し離した状態でスワイプします。動作の終わりに指を持ち上げます。

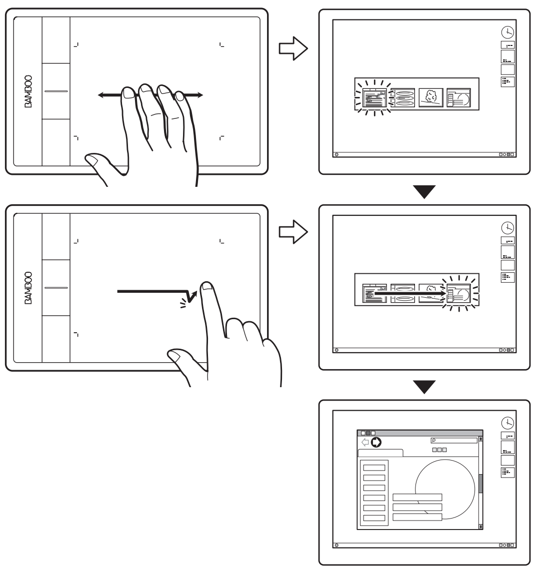
- 右方向にスワイプすると、多くのブラウザと画像ビューアで「進む」が実行されます。
- 左方向にスワイプすると、多くのブラウザと画像ビューアで「戻る」が実行されます。

ヒント： スワイプは、ドキュメントビューアでの右矢印キーおよび左矢印キーを使用するのと同じ働きをします。

ジェスチャーによるスワイプを使用すると、ほとんどの Web ブラウザでページを進めたり前に戻したりできます。

４本指でのジェスチャー

左右スワイプによるソフトウェアの切り替え



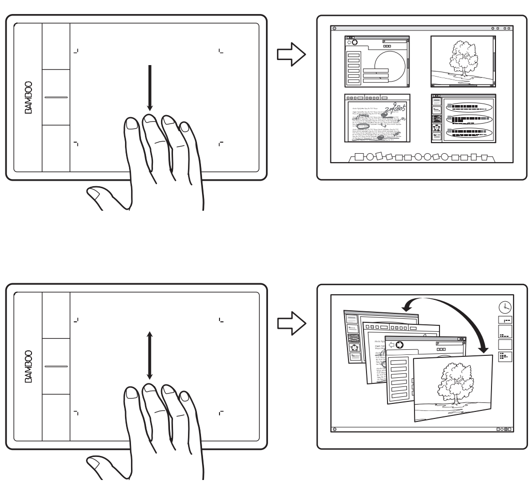
ソフトウェアの切り替え

指同士を少し離した状態で 4 本の指を左右に動かすと、アプリケーションスイッチャーが開きます。

続いて 1 本の指を左右に移動すると、ソフトウェアがハイライト表示されます。ソフトウェアを軽くたたいて選択します。

Windows XP の場合：4 本の指を左右に動かすと、Windows フリップが開きます。続いて再度 4 本の指でスワイプすると、リスト内の次のソフトウェアが開きます。

下方向スワイプでフリップ 3D/Exposé を実行



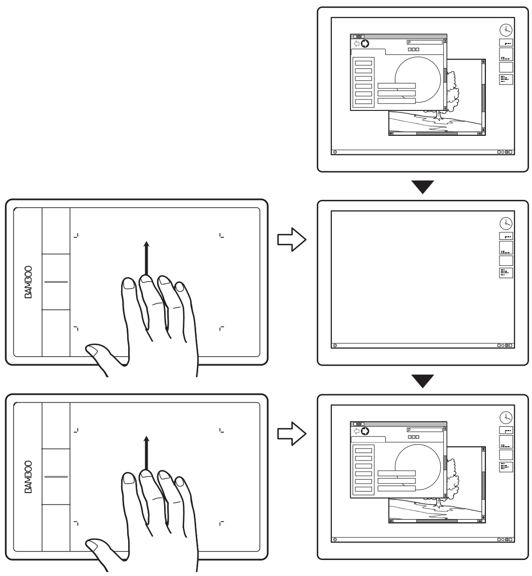
フリップ 3D（Windows）または Exposé（Mac）を開く

指同士を少し離した状態で、4 本の指を下方向にスワイプします。

- Windows の場合：最初のスワイプで フリップ 3D が開きます。再度下方向にスワイプするとフリップ 3D が閉じます。Windows XP では、この操作はできません。

  代わりに 4 本の指を約 1 cm 下方向に動かすと、フリップ 3D が開きます。指を離さずさらに下方向に動かすと左側のソフトウェアが選択でき、上方向に動かすと右側のソフトウェアが選択できます。いずれかの指を離すと フリップ 3D は閉じます。
- Mac の場合：最初のスワイプで Exposé が開きます。再度下方向にスワイプすると Exposé は閉じます。

上方向スワイプでデスクトップ画面を表示



デスクトップ画面を表示

指同士を少し離した状態で 4 本の指を上方向にスワイプすると、表示中のウィンドウが隠れデスクトップが表示されます。再度上方向にスワイプすると、隠れたウィンドウが再びデスクトップ上に戻されます。

タッチのカスタマイズ

タッチは簡単にカスタマイズできます。

タッチを使ってコントロールパネルを開きます。「タッチオプション」タブ、または「タッチ機能」タブを選択し、続いて利用できるオプションを選択します。

[コントロールパネルを開く]
[コントロールパネル概要]
[タッチ入力をカスタマイズする]

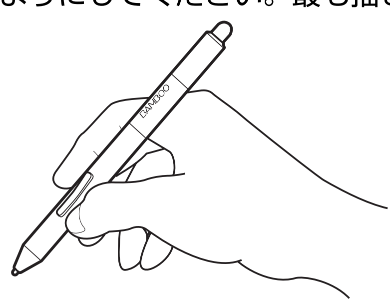
Bamboo シリーズでのペン入力

Bamboo シリーズは、効率的な作業ができるように設計されています。 ペン入力に対応した機種では、タブレットの操作エリアでペンを使ってコンピュータを操作できます。

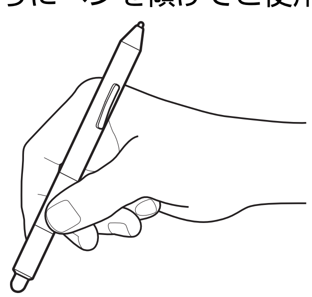
補足：ペン入力とタッチ入力の両方に対応する機種では、ペンのペン先かテールスイッチ（消しゴム）がタブレットの検出範囲にあると、タッチ入力ができなくなります。ペンをタブレットの操作エリアから離すと、再びタッチ入力ができるようになります。ペンの操作中に手の接触によって意図しないタッチ入力が生じる場合は、「タッチ機能 ON/OFF 切り替え」に設定されたファンクションキーを押して、タッチ入力を無効にすることができます。ペンによる作業を終えたら、再度そのファンクションキーを押すと、タッチ入力を再開することができます。タブレットとファンクションキーの機能をカスタマイズするをご覧ください。

ペンの持ち方

鉛筆やボールペンと同じようにお持ちください。サイドスイッチが、親指または人差し指で押せるような位置でお使いください。ペンで線を引いたり位置を決めたりするときに誤ってサイドスイッチを押さないようにしてください。最も描きやすいようにペンを傾けてご使用ください。

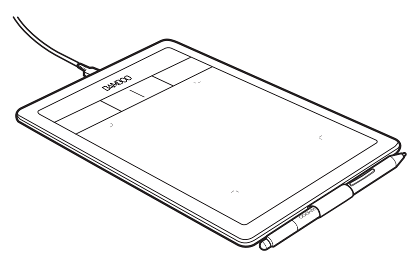


ペンの使い方



消しゴムの使い方

補足： Bamboo Pen 筆圧ペン (LP-170) にはテールスイッチ（消しゴム）は搭載されていませんのでご注意ください。



ペンを使わないときは、ペンホルダーに収納してください。テールスイッチ（ 消しゴム）側から差し込んでください。

重要：ペンを使用しないときは、ペンホルダーに入れるか、または机の上に横にして置いてください。ペンの感度を維持するために、ペン先やテールスイッチ（消しゴム）が押されてしまうような入れ物には収納しないでください。 故障の原因となります。また、ペンをタブレット上に置いたままにすると、通常のマウスなどを使用する際に画面のポインタの移動ができなくなったり、コンピュータがスリープ状態に入るのを妨げたりする場合があります。

ペンを使う



ペンの基本操作は、ポインタの移動、クリック、ダブルクリック、ドラッグです。
ペンの操作に慣れない場合は、このページ以降の練習を行ってください。

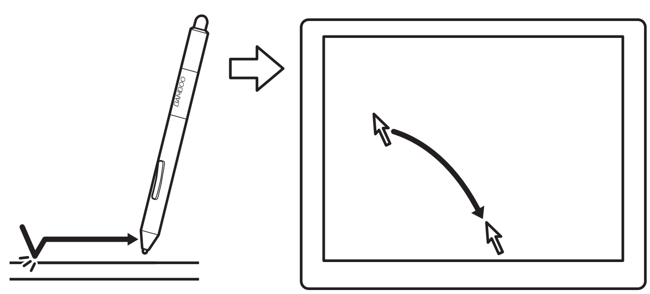
ポインタの移動



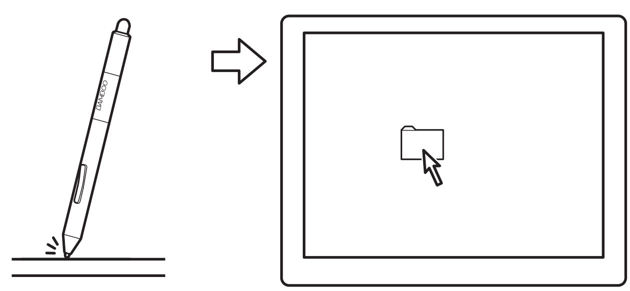
画面上でポインタ（またはカーソル）の位置を決めるためにペンを使います。

ペンを持ち上げてペン先をタブレットの操作エリアに置きます。ポインタが新しい場所へジャンプします。

タブレット上でペンを動かして、画面のポインタを移動させます。タブレットの表面に触れずにペン先をタブレットの読み取り高さに保ちながら行ってみてください。



アイコンやフォルダを選択するには、ペンで画面のポインタをそのオブジェクトまで移動させ、ペンを押して選択します。

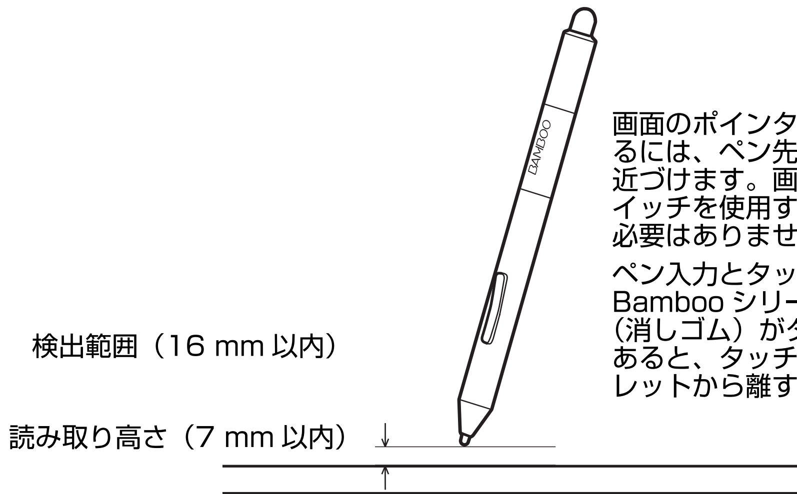


ヒント： ペンの操作に少し違和感がある場合は、画面を見ながらペンを使うを参照してください。

画面のポインタが、タブレット上の手の動きと同じ方向へ移動するように、ディスプレイの向きに合わせてタブレットを置くと、ポインタを簡単に操作できるようになります。

画面上のポインタの動きかたには、以下の 2 つの設定があります（タブレットの座標検出を参照してください）。

- ペンモードでは、タブレット面にペン先を置くと、画面のポインタが対応する位置に移動します。ポインタはペン先の位置を示し、ペン先の動きに合わせて移動します。



画面のポインタを移動したり、サイドスイッチを操作するには、ペン先をタブレット面から 7 mm 以内の場所に近づけます。画面のポインタを移動させたり、サイドスイッチを使用するのにペン先でタブレットにタッチする必要はありません。

ペン入力とタッチ入力の両方をサポートしている Bamboo シリーズでは、ペンのペン先かテールスイッチ（消しゴム）がタブレットの検出範囲（16 mm 以内）にあると、タッチ入力ができなくなります。ペンをタブレットから離すと、タッチ入力ができるようになります。

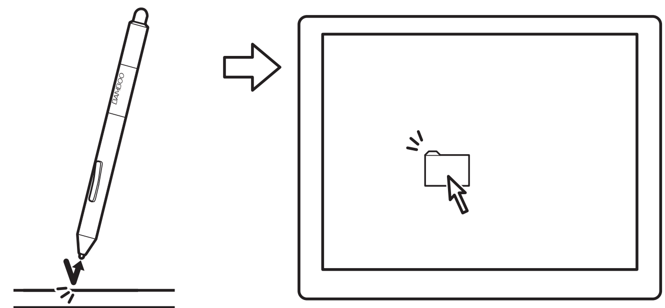
- マウスモードでは、通常のマウスのように、動いた方向と距離に応じてポインタが移動します。

クリック



画面上のアイコンを指定したりする場合、クリックします。開くにはダブルクリックします。

クリック　クリックするには、タブレットをペン先で一度軽くたたくか、タブレットにペン先を強めに押しつけます。コントロールパネルで「クリック音」が選択され、コンピュータのスピーカがオンの場合、ペン先を強く押してクリックすると、「カチッ」と音がします。フォルダアイコン上に画面のポインタを移動させ、ペン先を押してアイコンをクリックしてみてください。フォルダアイコンを押すと、ハイライトされます。必要に応じてスピーカのボリュームを調節してください。

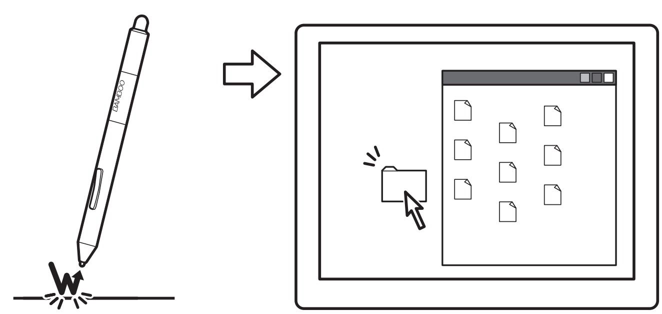


ヒント：ペンをアイコンに近づけるだけで選択でき、シングルクリックで起動するように Windows を設定します。この機能を使用可能にするには、フォルダを開いて、以下の設定を行ってください。

- **Windows 7 または Windows Vista の場合：**「整理」プルダウンメニューから、「フォルダと検索のオプション ...」を選択します。「全般」タブで、「ポイントして選択し、シングルクリックで開く」を選択します。
- **それ以外の Windows の場合：**任意のフォルダを開いて「ツール」メニューを選択し、プルダウンメニューから「フォルダオプション ...」を選択します。「全般」タブで、「ポイントして選択し、シングルクリックで開く」を選択します。

ダブルクリック　ペン先で同じ場所を短く２回たたきます。マウスボタンで 2 回クリックするのと同じです。フォルダアイコンをダブルクリックして開いてみてください。

ヒント：サイドスイッチの 1 つをダブルクリックに設定しておくと、ペン先で 2 回タブレットをたたくよりも簡単にダブルクリックすることができます。



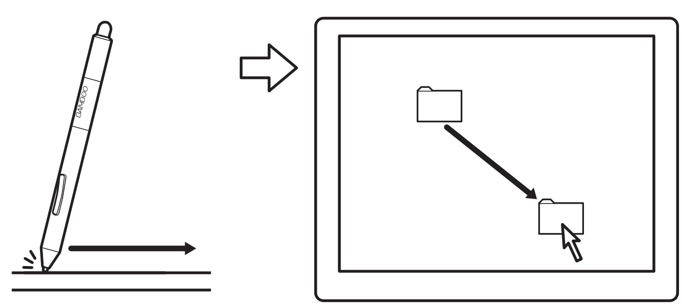
ドラッグ



ドラッグして、画面上のオブジェクトを選択したり、移動したりできます。

ペンで画面上のアイコンをドラッグするには、まずアイコンを選択します。次にペン先をタブレットに押し当てたままタブレット面の上を滑るように移動させます。選択したアイコンは、画面上を移動します。

文書内のテキストを選択するには、画面のポインタを行の開始位置に移動させます。次にタブレット上でペンをドラッグし、テキストをハイライトの状態にします。



サイドスイッチを使う

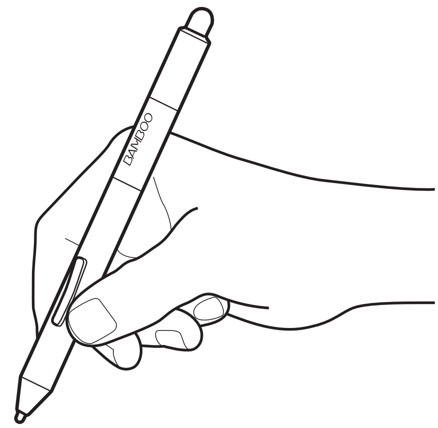


ペンには、サイドスイッチが 2 つ装備されています。このスイッチは、お好みの設定（機能）にカスタマイズ可能です。ペン先がタブレットの操作エリアから高さ 7 mm 以内にある場合に、サイドスイッチを使用することができます。ペン先がタブレットにタッチしていなくても、サイドスイッチは使用できます。

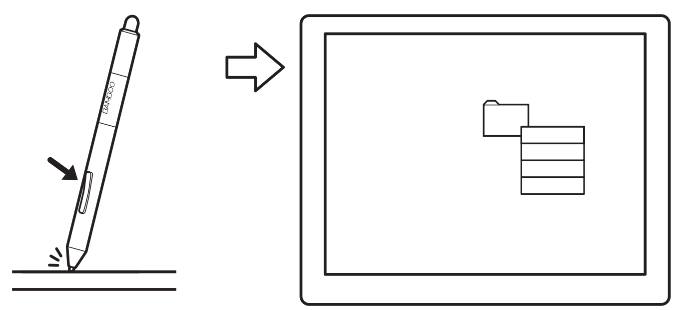
サイドスイッチの標準設定

上：	「右クリック」
下：	「スクロール / 移動」

ヒント： サイドスイッチのどちらかを「ダブルクリック」に設定しておくと、ペン先で 2 回タブレットをたたくよりも簡単です。

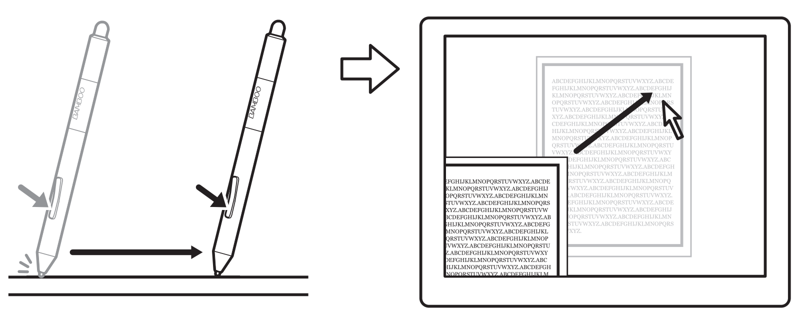


ソフトウェアやアイコンのポップアップメニューを表示させるには、「右クリック」を使います。



「スクロール / 移動」は、ペンのサイドスイッチを押しながら、ペン先をタブレットに押し当てて、ペンを移動させます。ウィンドウ内の書類または画像が任意の方向に移動します。タブレット上でのペンの動きに合わせて、ウィンドウ内の書類あるいは画像が移動します。ペンのサイドスイッチを放すか、または タブレットからペン先を離すと、「スクロール / 移動」は終了します。

ソフトウェアによっては、ペン先の動きに対応する画面上のポインタと同じ方向に書類や画像が移動するだけの場合もあります。



新しいスイッチ機能を割り当てるには、サイドスイッチのカスタマイズをご覧ください。

筆圧を使って書く / 線を引く



ペンは微妙な手の動きや変化を感知し、筆圧に対応したソフトウェアでは自然な感じの手書き文字やインクのラインを表現できます。多くのグラフィックソフトの描画機能と同様に、Office 2007 またはそれ以降のバージョン、Windows 7 および Vista でのデジタルインク機能もまた筆圧に対応します。たとえば、ソフトウェアによりますが、スライダは太さ・色・透明度などの線の特徴を変えるのに使用します。このような特徴はペンの筆圧機能でさらに調整できます。ペンに加える力で、線の太さ、色の混ぜ合わせ、透明度を変えられます。

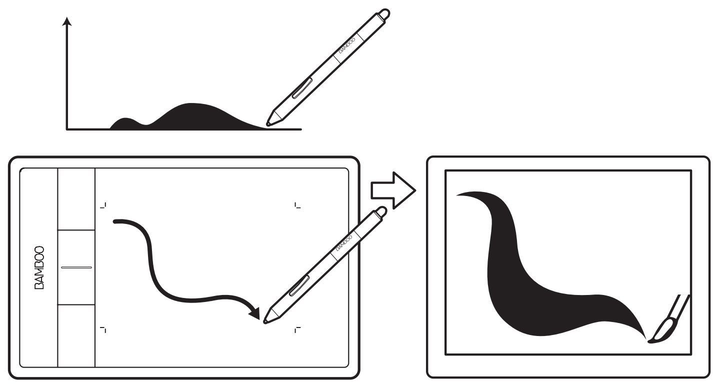
筆圧を使用して、文字を書いたり、塗ったり、線を引いたりするには、ペン先に加える力を変えながら、ペン先でタブレット面をなぞるようにしてペンを移動させます。

- 線を太く、または色を濃くするには、強く押します。
- 線を細く、または色を薄くするには、軽く押します。

なお、ソフトウェアによっては最初にツールパレットから筆圧ツールを選択する必要があります。

ペン先の感触を調整するには、ペン先と消しゴムの感触、ダブルクリックを調整するをご覧ください。

筆圧に対応するグラフィックソフトについては、ワコムのホームページ、および製品情報をご覧ください。



消しゴム



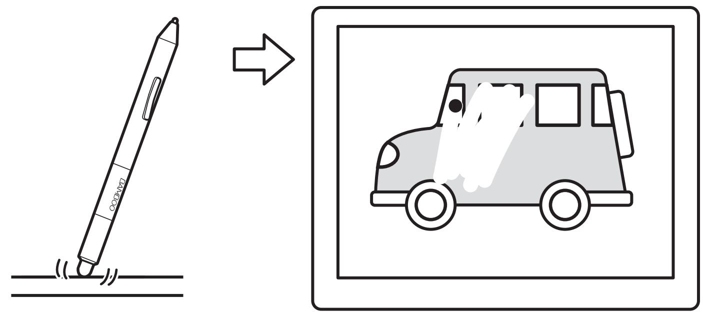
ペンのテールスイッチ（消しゴム）は、鉛筆の消しゴムのように働きます。

補足：Bamboo Pen 筆圧ペン (LP-170) にはテールスイッチ（消しゴム）は搭載されていませんのでご注意ください。

消しゴム機能に対応するグラフィックソフトで、ペンのテールスイッチ（消しゴム）をタブレットの操作エリアに近づけると自動的に消しゴムツールに切り替わり、直感的で自然な使いかたができます。

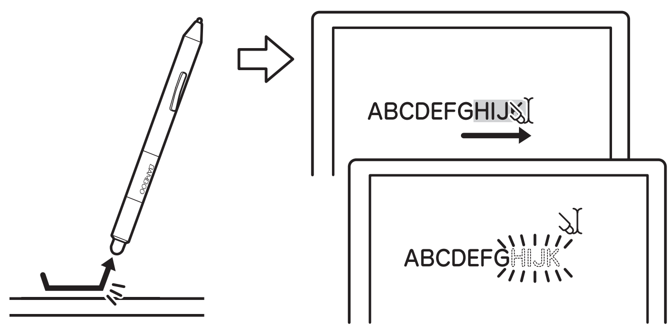
筆圧機能に対応しているソフトウェアでは、ツールパレットの筆圧ツールを選ぶと、筆圧と消しゴムの幅や濃淡を調整できます。

ペン先と消しゴムの感触、ダブルクリックを調整するをご覧ください。



Offic e 2007 またはそれ以降のバージョン、Windows 7 および Vista での消しゴム機能は、デジタルインクで書かれたメモやスケッチを消すことができます。また、ソフトウェア内のテキストや表計算のセルの中のテキストを選択して消去することもできます。

テキストに対応したソフトウェア内で、テールスイッチでテキストを選択し続いてテールスイッチを持ち上げると、選択中のテキストは削除されます。



消しゴム機能に対応するソフトウェアについては、ワコムのホームページ、および本書の製品情報をご覧ください。ソフトウェアが消しゴム機能に対応していない場合でも、ポインタの移動や、線引き、アノテーション（書き込み）には、消しゴムを使うことができます。

画面を見ながらペンを使う

ペンを使用する際の目と手の連動に慣れるために、下記の練習をすることをおすすめします。

1. グラフィックソフトを開きます。線ツールを使って 20 ～ 25 mm の間隔で格子を描きます。通常のマウスを使ってもよいでしょう。
2. フリーハンドツールを選択して、格子の各交点にペンで点を打ちます。
3. 格子の各交点にペンで X 印をつけます。
4. 今度は、画面をクリアして簡単な絵を描いてみてください。ペンを使うほど、字を書いたり、線を引いたり、ポインタを操作することが楽になっていきます。

ペン入力のカスタマイズ

ペンは簡単にカスタマイズできます。

ペンを使ってコントロールパネルを開きます。「ペン」タブを選択し、続いて利用できるオプションを選択します。

コントロールパネルを開く
コントロールパネル概要
ペン入力をカスタマイズする

ファンクションキー

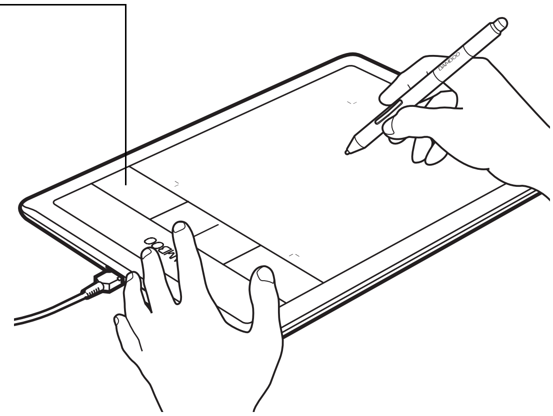
Bamboo Pen (CTL-470) を除く Bamboo シリーズには、ファンクションキーが搭載されています。設定をカスタマイズすることもできます。

[ファンクションキーの基本](#)
[ファンクションキーのカスタマイズ](#)
[タッチオプションを設定する](#)

ファンクションキーの基本

ファンクションキーを押すと、よく使われる機能やキーストロークを実行できます。ファンクションキーは、作業を進めながらタッチまたはペン入力のプロパティを変更するためにも使うことができます。

ファンクションキー



次のようなファンクションキーの使い方をお試しください。

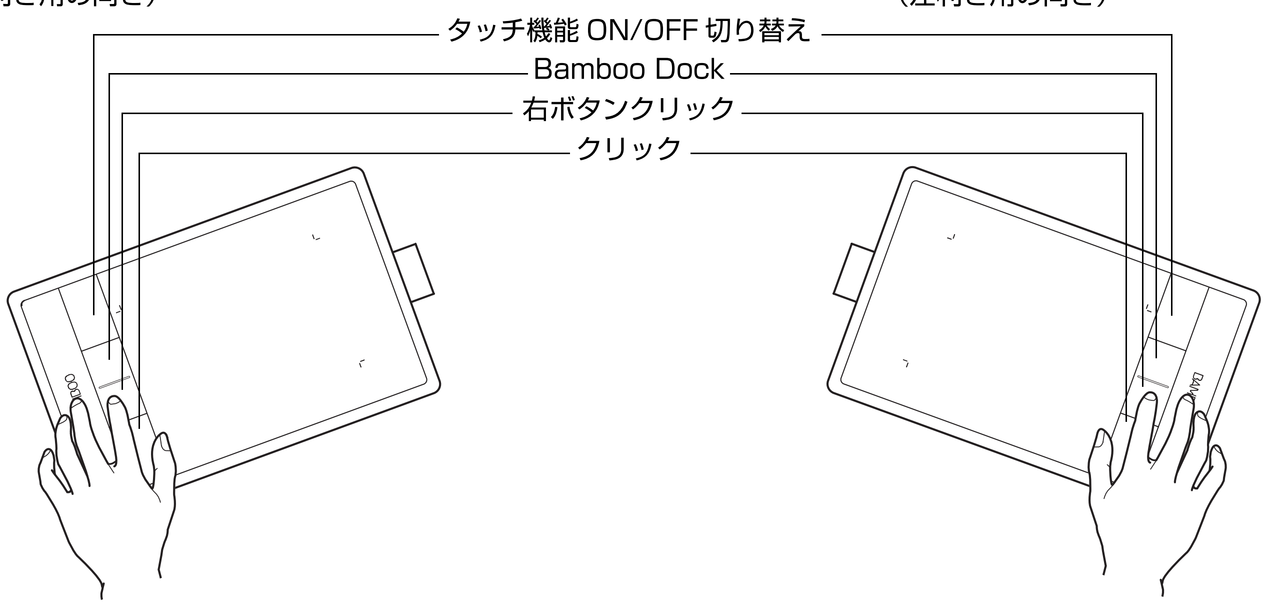
- よく使うキーボードのショートカットをキーに設定します。
- 電子メールプログラムなど、よく使うファイルあるいはソフトウェアを起動するようにキーを設定します。
- その他の割り当てられる[機能](#)から選択し、キーを設定します。

補足：2 つのファンクションキーを組み合わせて操作することができます。たとえば、1 つのボタンに「Ctrl」機能を、別のボタンに「Alt」を割り当てます。両方のボタンを押すと、「Ctrl」+「Alt」が開始されます。

ファンクションキーをタブレットの左側に置いたときの構成（右利き用の向き）

標準設定：

ファンクションキーをタブレットの右側に置いたときの構成（左利き用の向き）



ファンクションキーのカスタマイズ

コントロールパネルを使って、ファンクションキーのオプションをカスタマイズできます。

コントロールパネルを開く
コントロールパネル概要
タブレットとファンクションキーの機能をカスタマイズする

Bamboo シリーズをカスタマイズする

Bamboo シリーズのコントロールパネルを使って、使いやすいように Bamboo シリーズをカスタマイズできます。

コントロールパネルを開く

コントロールパネルを開くには、

- **Windows**：Windows の「スタート」ボタンをクリックして、「すべてのプログラム」を選択します。次に「Bamboo」を選択し、「Bamboo の設定」オプションを選択します。
- **Mac**：「Finder」の「アップル」メニューあるいは「アプリケーション」フォルダから「システム環境設定」を開きます。次に「Bamboo」アイコンをクリックします。

Bamboo シリーズはコントロールパネルからカスタマイズすることができます。コントロールパネルでは、お使いの機種および設定に当てはまるタブとオプションのみ表示されます。コントロールパネル概要をご覧ください。

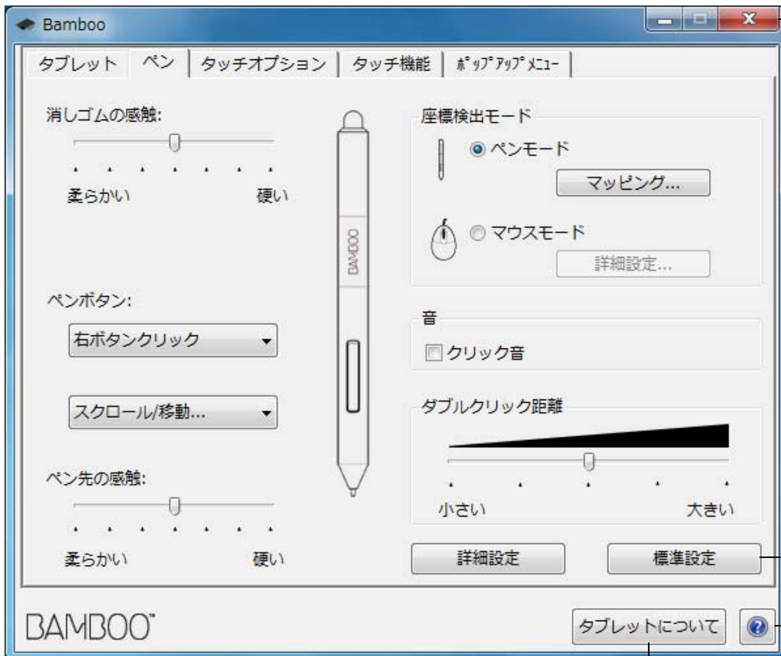
補足：各ユーザごとに設定が行えます。ログオンした後、各ユーザはコントロールパネルで個人の設定をカスタマイズすることができます。別のユーザに切り替えると、自動的にそのユーザの設定が読み込まれます。

コントロールパネル概要

コントロールパネルを使って、タッチ入力（対応機種のみ）、ペン入力、タブレットをカスタマイズできます。

コントロールパネルを開くと、お使いのタブレットの機種と設定に当てはまるタブが表示されます。

タブを選択すると、カスタマイズ可能な設定が表示されます。



コントロールパネルを閉じます。

選択したタブを標準設定にリセットします。

オンラインマニュアル（本書）をダウンロードまたは表示します。

コントロールパネルおよびドライバに関する情報を表示します。

設定をいろいろ試して、最適な設定を見つけてください。 変更はすぐに反映されます。 タブを標準設定に戻すには、「標準設定」ボタンをクリックします。

ヒントはほとんどのコントロールパネルの項目の上に表示されます。項目の上に画面のポインタを置いて静止させます。すぐに該当するヒントが表示されます。

キーボードのタブと矢印キーを使って、コントロールパネルを操作することもできます。

コントロールパネルを使う場合、参考として以下のセクションをお読みください。各タブについての詳細な説明と、カスタマイズに役立つヒントを掲載しています。

タッチ入力をカスタマイズする
ペン入力をカスタマイズする
ボタン機能

タッチ入力をカスタマイズする



使い方に合わせて、タッチ入力の最適なカスタマイズを行うことができます。コントロールパネルのオプションで設定します。タッチによる操作をご覧ください。

タッチオプションを設定する

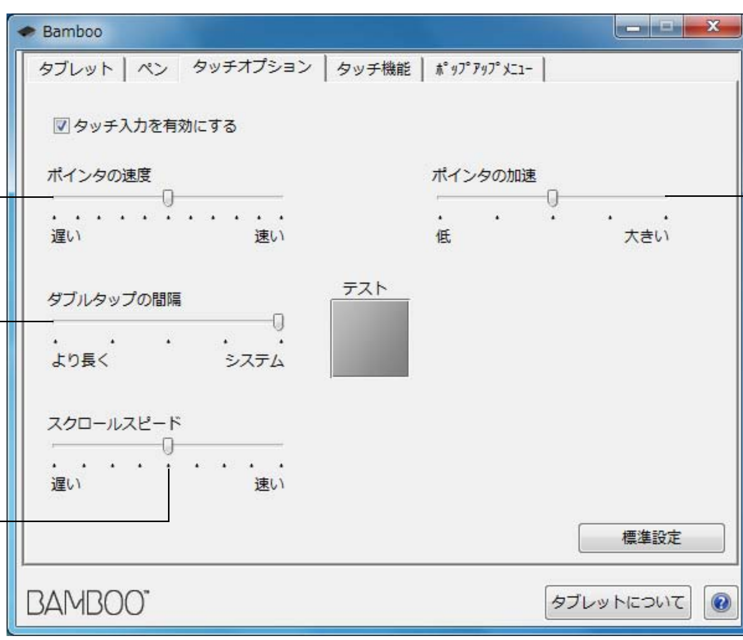


「タッチオプション」タブを選んで設定します。

ここでは、タッチ操作やジェスチャーを感知させるための速度を設定します。

「ポインタの速度」ではトラッキングおよびナビゲーション用に、ポインタの速度を調節します。ポインタをゆっくり動かしたい場合は、「遅い」にスライドします。ポインタを素早く動かしたい場合は、「速い」にスライドします。

画面のポインタの加速度レベルを設定します。タブレット上の指の動きに対する反応を遅くするときは「低」に、速くするときは「大きい」にスライドします。



ダブルクリックを認識させるための速さを調節します。設定をテストするには、「テスト」エリアにポインタを置き、２回タップします。

「スクロールスピード」で「ジェスチャーによるスクロール」の速度を設定します。

補足：タッチ速度と加速度の設定は、通常のマウスの設定から独立しています。これらの設定を変更しても、通常のマウスの設定に影響はありません。ただし、通常のマウスの設定を変更すると、タブレットの設定に影響することがあります。

タッチ機能を設定する



「タッチ機能」タブを選んでタブレットをカスタマイズし、タッチの環境設定をします。

ここでは[タッチ入力機能](#)のオン／オフを個別に切り替えることができます（ソフトウェアが対応している場合）。

各項目をチェックすると、タッチ操作やジェスチャーが利用可能になります。

様々な使い方に対応できるように、右クリックなど一部の機能は別の動作でも実行できます。

[タッチによる操作](#)もご覧ください。



各機能にポインタを移動させると、その機能の動画デモを見ることができます。

オプションを選択しなければ、コントロールパネル上に各オプションの動画デモが続けて表示されます。

タッチ入力を無効にする

「タッチオプション」タブ、または「タッチ機能」タブを選択して、タッチ入力の ON/OFF を切り替えます。

- 選択を解除するとタッチ入力が無効になります。この場合もファンクションキー（およびペン）での作業は有効です。
- 「タッチ機能 ON/OFF 切り替え」機能を割り当てたファンクションキーを押すことによっても変更できます。

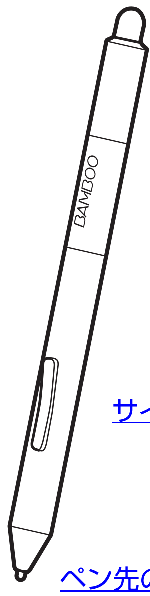


ペン入力をカスタマイズする



ペンは簡単にカスタマイズできます。ペンを使ってコントロールパネルを開き、お使いの環境に合わせ Bamboo シリーズをカスタマイズできます。

補足：2 つ以上のペンをお持ちの場合でも、共通の設定内容になります。

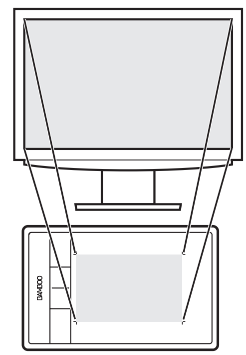


テールスイッチ（消しゴム）の感触の調整

補足： Bamboo Pen 筆圧ペン (LP-170) にはテールスイッチ（消しゴム）は搭載されていませんのでご注意ください。

サイドスイッチのカスタマイズ

ペン先の感触とダブルクリックの調整



タブレットの座標検出

ペン先と消しゴムの感触、ダブルクリックを調整する

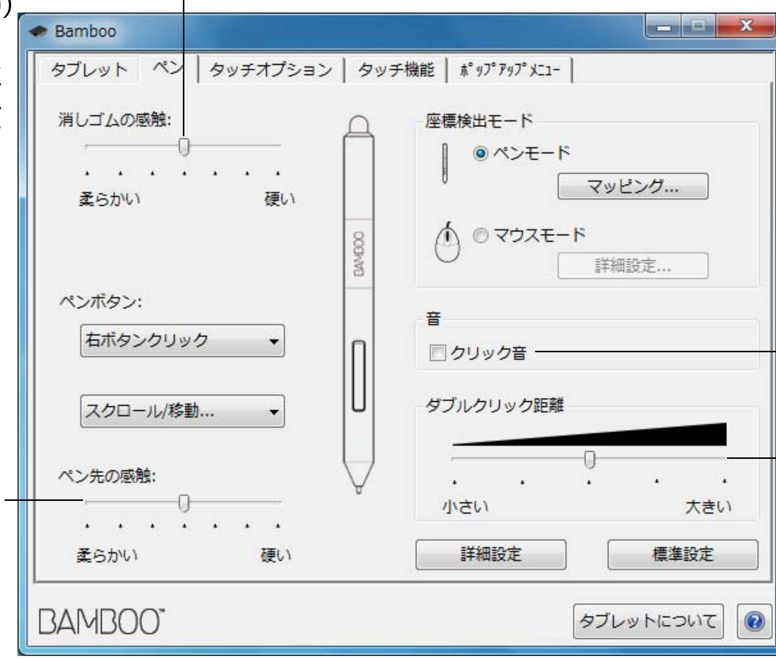


「ペン」タブを選択します。

太い線を引きたい場合、または軽いタッチでクリックしたい場合は、「ペン先の感触」のスライダを「柔らかい」へ移動させます。細い線を引きたい場合は、スライダを「硬い」へ移動させます。
消しゴムを太い幅で、あるいは軽いタッチで消したい場合は、「消しゴムの感触」のスライダを「柔らかい」へ移動させます。細い幅で消したい場合は、スライダを「硬い」へ移動させます。

消しゴムを使うときに必要な筆圧をカスタマイズします。テールスイッチ（消しゴム）のあるペンで使用できます。

補足： Bamboo Pen 筆圧ペン（LP-170）にはテールスイッチ（消しゴム）は搭載されていませんのでご注意ください。



チェックを入れた場合、コンピュータのスピーカがオンのときにペンでクリックすると、「カチッ」と音が聞こえます。

クリックや描画、インクに必要な筆圧をカスタマイズします。

ダブルクリックのエリアとダブルクリックの速度を調整します。大きく設定すると、ダブルクリックが簡単になります。

ヒント：「ペン先の感触」を柔らかいほうへ設定すると、筆圧の感度が高まります。

ソフトウェアによっては、柔らかい筆圧の設定に過剰に反応する場合があります。ペンを少し押しただけで画面に大きく広がったりする場合は、「ペン先の感触」の設定を硬くしてみてください。

ダブルクリックを簡単にするには、ダブルクリックする範囲（ダブルクリック距離）を大きくします。

グラフィックソフトによっては、ダブルクリック距離を大きくすると筆のストロークに時間差が生じるため、ドラッグの動きやインクのストロークにも時間差が生じることがあります。このような場合はダブルクリック距離を小さく設定し、サイドスイッチを使用してダブルクリックしてみてください（サイドスイッチを使うをご覧ください）。ファンクションキーにダブルクリックを設定することもできます。

サイドスイッチのカスタマイズ

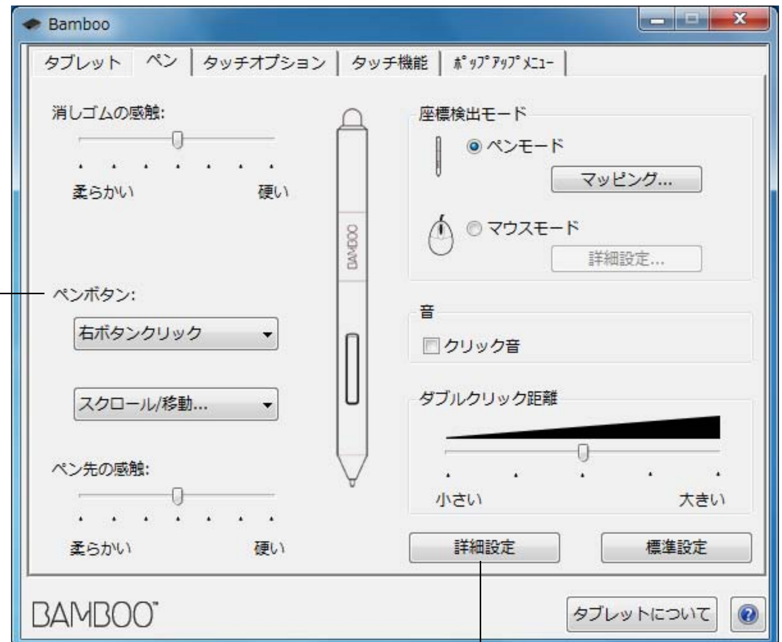


「ペン」タブを選択します。各サイドスイッチには、マウスと同じよう操作できる機能が設定されています。

上部、または下部のサイドスイッチを押した場合に働くボタン機能を選択します。

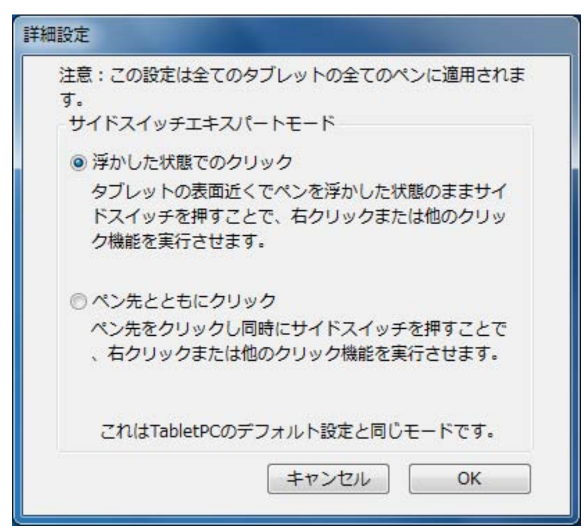
タブレットにペンを接触させずに、タブレット面から 7 mm 以内にペン先を近づけて、上部、または下部のサイドスイッチを押した場合、設定した機能が働きます。

ヒント：簡単にダブルクリックを行うには、「ダブルクリック」を選択すると、自動的にサイドスイッチがダブルクリックに設定されます。



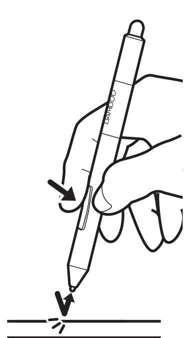
「サイドスイッチエキスパートモード」を変更して、右クリックなどのクリック機能を実行する場合の方法を変えることができます。「詳細設定」ボタンをクリックしてください。

- 「浮かした状態でのクリック」を選択した場合、ペン先をタブレット面に接触させずにクリック機能を実行することができます。
- 「ペン先とともにクリック」を選択した場合、正確な位置でクリックすることができます。クリック機能を実行するには、サイドスイッチを押しながらペン先をタブレット面に接触させます。





浮かした状態でのクリック



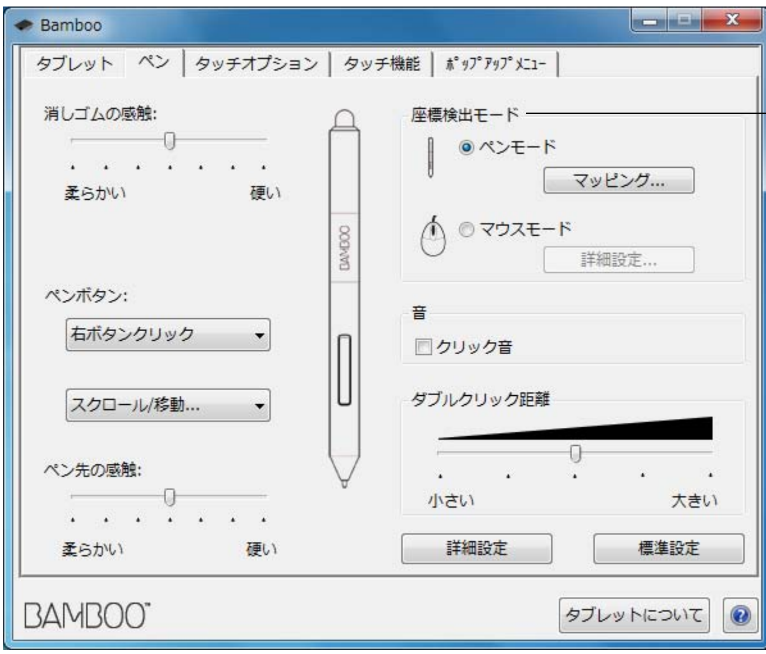
ペン先とともにクリック

タブレットの座標検出



「ペン」タブを選択します。「座標検出モード」オプションで、タブレット上のペンの動きと、画面上のポインタの動きとの関係を設定できます。

標準設定では、タブレットの操作エリア全体が、画面全体にマッピングされます。複数のディスプレイを使用している場合、タブレットは、すべてのディスプレイ画面にマッピングされます。[マルチディスプレイへのマッピング](#)をご覧ください。



「座標検出モード」オプションで画面のポインタの動きかたを制御します。

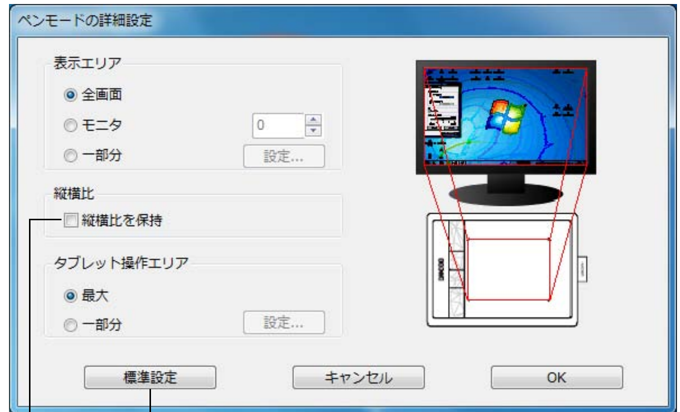
- 「ペンモード」では、ポインタの動作がタブレット上のペン先の位置に対応するよう設定されます。これによって、タブレット上にペンを置くと、ポインタが、画面上の対応するポイントまでジャンプします。これは絶対座標で、ペンの標準設定です。「詳細設定」をクリックして、[タブレットのマッピング](#)をカスタマイズします。
- 「マウスモード」では、通常のマウスのように、動いた方向と距離に応じてポインタが移動します。
  「詳細設定」をクリックして、[ポインタの速度の設定（マウスモード）](#)を行います。

補足：ペンモードとマウスモードをよく切り替える場合は、サイドスイッチまたはファンクションキーの 1 つに「[ペン⇔マウスモード ...](#)」を割り当てることもできます。

コントロールパネルの「ペン」タブで「ペンモード」の「詳細設定 ...」ボタンをクリックすると、「ペンモードの詳細設定」ダイアログボックスが表示されます。

「表示エリア」オプションで、タブレットに割り当てる画面の領域を選択します。

- 「全画面」 複数のディスプレイを使用している場合、すべてのディスプレイの表示領域全体に割り当てられます。これは標準設定です。マルチディスプレイへのマッピング をご覧ください。
- 「モニタ」 指定した1つの画面の領域全体に割り当てられます。
- 「一部分」 デスクトップ領域の一部分にマッピングします。「設定 ...」をクリックし、表示エリアの範囲を定めます。



工場出荷時の標準設定に戻します。

「縦横比を保持」ボックスをチェックするか、またはチェックをはずして、タブレットと画面との関係を設定します。

「タブレット操作エリア」オプションを使って、画面にマッピングするタブレットのエリアを選択します。

- 「最大」 タブレットの操作エリア全体を画面に割り当てます。標準設定です。
- 「一部分」 タブレットの操作エリアの一部分を画面に割り当てます。「設定 ...」をクリックし、タブレット操作エリアの範囲を定めます。

補足：Bamboo シリーズは、縦横比 16：10 のディスプレイに対して最適化されていますが、他の縦横比のディスプレイを使う場合は標準設定が自動的に調整されます。

- 「縦横比を保持」のチェックをはずした場合、正確な縮尺、比率は保持されません。選択したタブレットの操作エリアが、選択した画面の表示エリアに割り当てられます。タブレットで円を描いてもディスプレイ画面では楕円になることがあります。標準設定です。



- 「縦横比を保持」にチェックを入れると、正確な縦横比が保持されます。タブレットで円を描くとディスプレイ画面でも円が描かれます。設定によりますが、このオプションが選択されている場合、タブレットの操作エリアで利用できない領域があります。



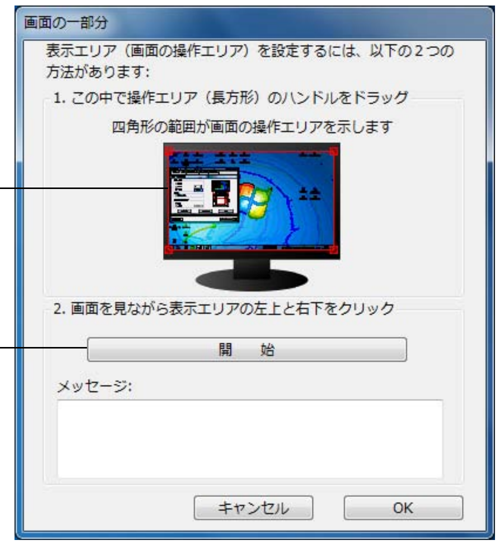
表示エリア

お使いのタブレットがディスプレイ画面のどの部分にマッピングされるかを定義するには、コントロールパネルの「ペン」タブで「ペンモード」の「詳細設定 ...」ボタンをクリックし、「ペンモードの詳細設定」ダイアログボックスを表示します。「表示エリア」の「一部分」を選択し「設定 ...」をクリックします。

表示されるダイアログから、表示画面の一部分を定義する方法を選択してください。

- 前面の四角形の角をドラッグして、表示エリアを選択します。
- 「開始」ボタンを選択し、画面のポインタを動かして表示エリアを選択します。画面の「メッセージ」に従って設定してください。

画面の一部分を定義したあと、表示エリアのその他の領域にアクセスするには、違う入力デバイスを使用してください。

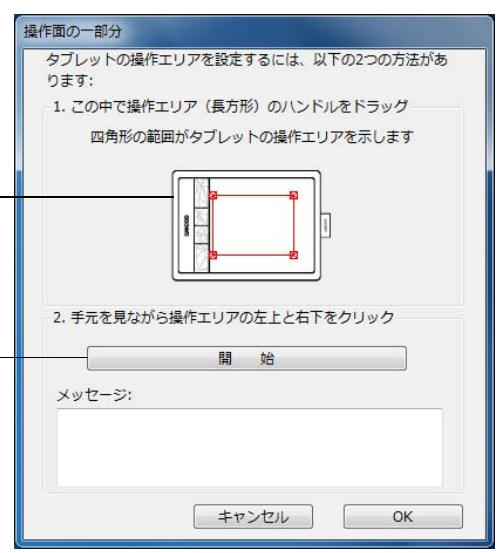


タブレット操作エリア

画面の表示エリアにマッピングされるタブレットのエリアを定義するには、コントロールパネルの「ペン」タブで「ペンモード」の「詳細設定 ...」ボタンをクリックし、「ペンモードの詳細設定」ダイアログボックスを表示します。「タブレット操作エリア」の「一部分」を選択し「設定 ...」をクリックします。

表示されるダイアログから、操作面の一部分を定義する方法を選択してください。

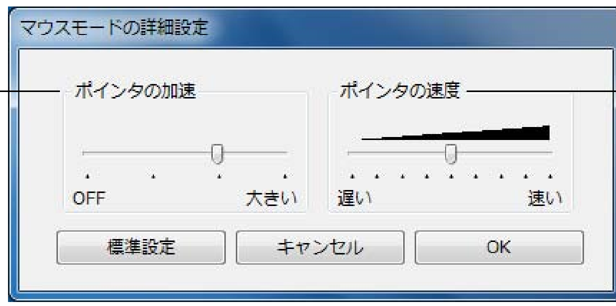
- 前面の四角形の角をドラッグして、選択した表示エリアに割り当てるタブレット操作エリアを設定します。
- 「開始」ボタンを選択し、ペンを使ってタブレット操作エリアを選択します。画面の「メッセージ」に従って設定してください。



ポインタの速度の設定（マウスモード）

マウスモードで、画面のポインタの加速と速度を変更するには、「ペン」タブの「マウスモード」の「詳細設定 ... 」ボタンをクリックします。ダイアログボックスが表示され、ここでマウスモードの設定を調節できます。

マウスモードの場合に、ポインタの加速を設定します。



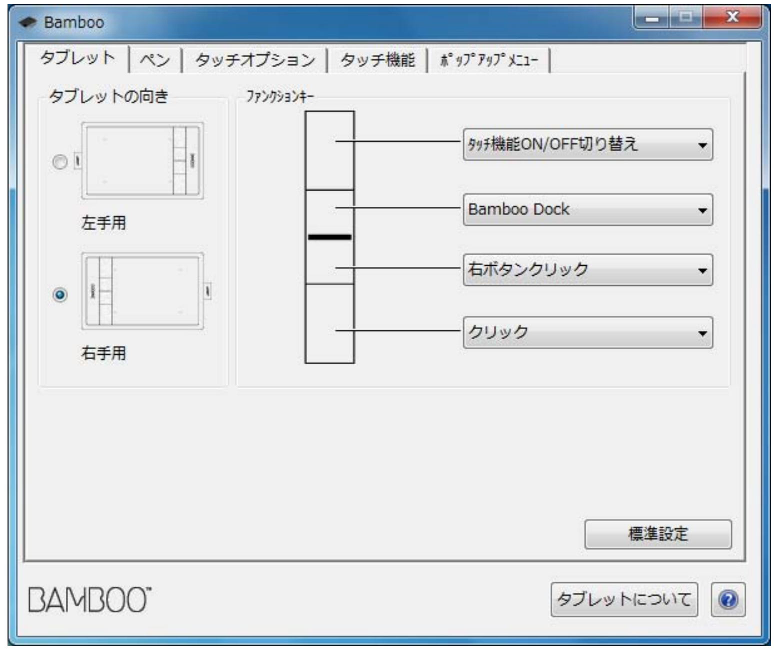
マウスモードの場合に、ポインタの速度を設定します。

補足：ボタンを「ペン⇔マウスモード ...」に設定した場合も、このダイアログボックスが表示されます。ただし、1 つのデバイスにつき、加速と速度は 1 つしか設定できません。

マウスモードの加速と速度の設定は、通常のマウスの設定から独立しています。これらの設定を変更しても通常のマウスの設定に影響はありません。ただし、システム設定を変更すると、同様のタブレットの設定に影響することがあります。

タブレットとファンクションキーの機能をカスタマイズする

「タブレット」タブを選択して、タブレットの向きを設定し、ファンクションキーをカスタマイズします。



タブレットの向き：

選択したオプション（左手用／右手用）に合わせて、タブレットドライバは自動的にタブレットの向きを設定します。
設定に合わせてタブレットの向きを変えてお使いください。

補足：ログオン画面およびユーザの切り替え画面では、タブレットはドライバがインストールされたときに選択された標準設定の向きが使われます。標準設定から変更したい場合は、タブレットドライバをインストールしなおす必要があります。タブレットの向きを設定するをご覧ください。

ファンクションキー：

プルダウンメニューから、キーを押したときに実行する機能を選択します。プルダウンメニューで選択された機能が表示されます。初期設定は以下の通りです。

- 一番上のキーの標準設定は「タッチ機能 ON/OFF 切り替え」で、このファンクションキーを押すことによってタッチ入力を無効にすることができます。タッチ入力を再開するには、再度このファンクションキーを押します。
- 上から 2 番目のキーの標準設定は、Bamboo Dock です。Bamboo Dock を開く、または前面に持ってくるには、上から 2 番目のキーを押します。もう一度キーを押すと、Bamboo Dock は最小化されます。
- 下から２番目のキーの標準設定は、「右ボタンクリック」です。
- 一番下のキーの標準設定は、「クリック」です。

補足：Bamboo Pen タブレット (CTL-470) にはファンクションキーは搭載されていませんのでご注意ください。

ポップアップメニューのカスタマイズ

「ポップアップメニュー」タブを選択し、カスタムメニューを作成して、メニューに表示されるオプションを定義します。

ポップアップメニューに追加するボタン機能を選択します。

ポップアップメニューに追加された機能を表示します。項目の順番を変更する場合は、変更後の位置にドラッグします。
編集する場合は、項目をダブルクリックします。



選択されたポップアップメニュー項目を削除します。

ポップアップメニューの「ポップアップフォント」と「文字サイズ」を設定します。

タブの設定を標準設定に戻します。

重要：この操作を行うと、定義されたポップアップメニューの項目はすべて削除されます。

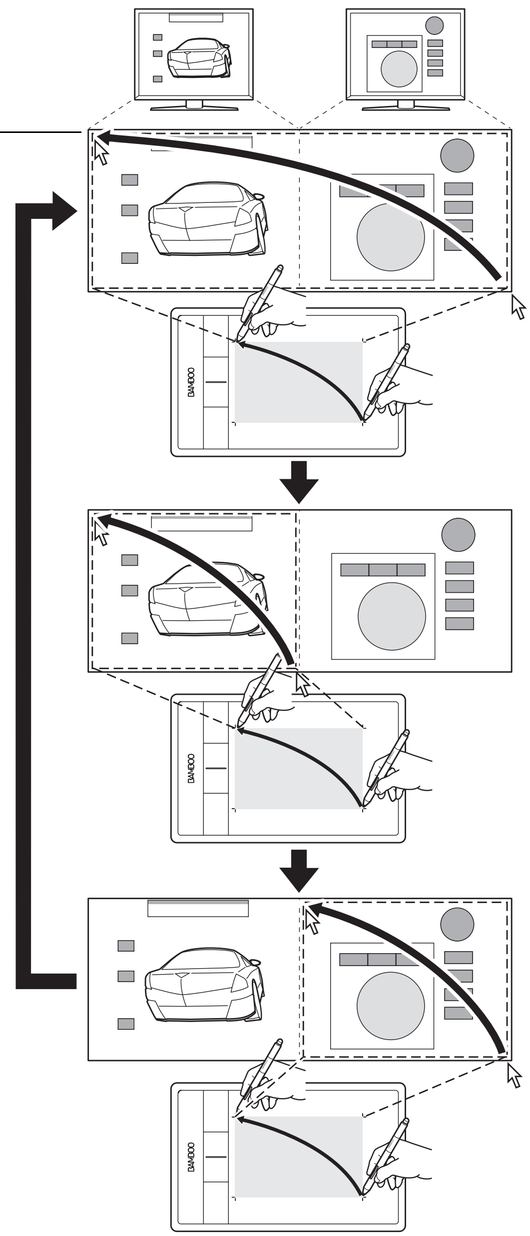
ポップアップメニューを表示するには、ファンクションキーまたはサイドスイッチの 1 つを「ポップアップメニュー」機能に設定することが必要です。設定後スイッチを押すと、画面のポインタの位置にポップアップメニューが表示されますので、オプションをクリックして選択します。

何も選択せずにポップアップメニューを閉じるには、メニューの外側をクリックします。

マッピング画面切り替えを使う

マルチディスプレイシステムでは、「マッピング画面切り替え」を利用することができます。この機能を使うと、タブレット 1 台でディスプレイ全体、またはディスプレイ 1 つずつで作業を行えます 。マルチディスプレイへのマッピングをご覧ください。

ファンクションキーを「マッピング画面切り替え」に設定すると、ボタンを押すことで、基本マッピング（「ペンモードの詳細設定」ダイアログの設定）や、その他のディスプレイマッピングを順番に切り替えられます。



1. マルチディスプレイの表示領域全体が拡張モードに設定されていて、Bamboo タブレットの操作エリアに割り当てられています。
2. 「マッピング画面切り替え」が割り当てられたファンクションキーを押すと、タブレットのマッピングを次のディスプレイに順番に切り替えていきます。

すべてのディスプレイが順番に選択されます。

- 基本マッピングは、「ペンモードの詳細設定」ダイアログボックスで定義されたタブレットとディスプレイのマッピングです。標準設定では、特定のディスプレイを主要ディスプレイとして定義していない限り、これにはすべてのディスプレイが含まれます。
- 次のディスプレイに切り替えると、有効な操作エリアが該当するディスプレイに割り当てられます（ペンモードの場合のみ）。
- 選択された最後のディスプレイまで切り替えた後、もう 1 度切り替えると、基本マッピング（現在のマッピング設定）に戻ります。

次の動作のいずれかを行うと、切り替えの順番は基本マッピングに戻ります。

- 筆圧をサポートするグラフィックソフトウェアを起動したとき
- システムをログアウトするか、再起動したとき
- ユーザを切り替えたとき（ファーストユーザスイッチ）
- システムをスリープモードにしたとき
- 「ペンモードの詳細設定」の設定を変更したとき
- システム上のディスプレイの解像度または数を変更したとき
- 「ペン⇔マウスモード」機能を使用したとき
- ポップアップメニューから「ペン」モードまたは「マウス」モードを選択したとき

ボタン機能

ご自身の作業スタイルに合わせて Bamboo シリーズをカスタマイズします。サイドスイッチ、ファンクションキー、ポップアップメニューの設定に割り当てられたボタン機能を、コントロールパネルから簡単に変更することができます。機種により、割り当てることのできる機能は異なる場合があります。またスイッチやキー、あるいは機種により利用できない機能もありますのでご注意ください。



機能	説明
クリック	
• クリック	ペン先の標準設定です。マウスボタンクリックに相当します。
• 右ボタンクリック	右ボタンクリックを行います。クリックすると、コンテキストメニューが表示されます。
• 中ボタンクリック	中ボタンクリックを行います。
• ダブルクリック	ダブルクリックを行います。ペン先で 2 度たたく代わりにこの機能を使用すると、ダブルクリック操作が簡単になります。
• クリックロック	スイッチを 1 回押すと、マウスの左ボタンを押してそのまま押し続けている状態になります。もう一度押すと、左ボタンから指を放すことに相当します。クリックロックは、オブジェクトをドラッグしたり、テキストブロックを選択したりする場合に便利です。
• 第 4 ボタンクリック	マウスの第 4 ボタンクリック（戻る）に相当します。
• 第 5 ボタンクリック	マウスの第 5 ボタンクリック（進む）に相当します。
戻る	ブラウザの「戻る」コマンドに相当します。
進む	ブラウザの「進む」コマンドに相当します。
消しゴム	ペン入力のみのオプションです。「消しゴム」機能に対応しているソフトウェアでは、このボタンを押したときにペン先が消しゴムの役割をします。消しゴムをご覧ください。

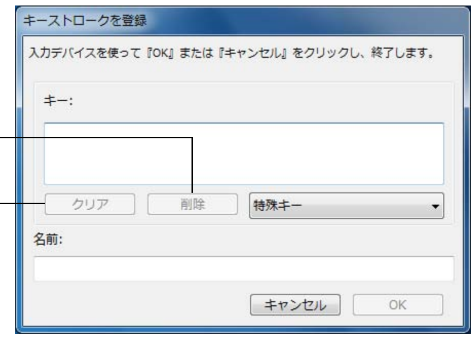
機能	説明

キーストローク ...

キーストロークを実行することができます。このオプションを選択すると、「キーストロークを登録」ダイアログボックスが開きます。

キーストローク入力ボックスに入力した最新の内容のみ削除します。

キーストローク入力ボックスをクリアします。



手動で、1 つのキーストロークまたはキーストロークの組み合わせを「キー」ボックスに入力することができます。

キーストロークには、文字キー、テンキー、「F3」のようなファンクションキー、修飾キー（Windows では「Shift」、「Alt」、「Ctrl」、Mac では「shift」、「option」、「command」、「control」キー）を組み合わせることができます。

「特殊キー」メニューから、特別なキーストローク、またはキーストロークの組み合わせを選択します。

キーストロークまたはキーストロークの組み合わせを入力したら、「OK」をクリックします。

> **重要：**「Enter」キー（Windows）および「return」キー（Mac）は、「キーストロークを登録」ダイアログボックスの「OK」を選択するのに使用しないでください。必ずペンを使用して「OK」をクリックしてください。

キーストローク定義に名前を入力します。名前は、それぞれのコントロールまたはポップアップメニューに表示されます。

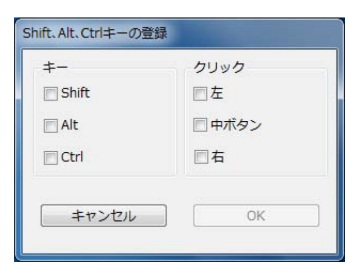
各ソフトウェアがどのキーストロークショートカットに対応しているかについては、そのソフトウェアに付属の取扱説明書をご覧ください。

修飾キー ...

修飾キー（Windows の「Shift」、「Alt」、「Ctrl」キーや、Mac の「shift」、「option」、「command」、「control」キーなど）を割り当てることができます。多くのソフトウェアでは、修飾キーを使用してオブジェクトの大きさや位置を限定します。

キーオプションをチェックして選択します（複数可）。

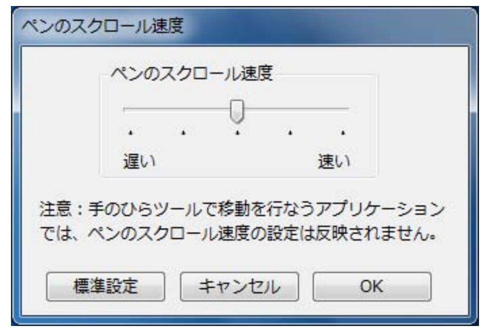
「クリック」オプションのどれかをチェックすると、対応するマウスボタンを押すのと同じ働きをします。



機能	説明
ポップアップメニュー	画面上にポップアップメニューを表示します。詳しくは、「ポップアップメニューのカスタマイズ」をご覧ください。
スクロール / 移動 ...	ペン入力のみのオプションです。文書または画像をウィンドウ内で自由に移動させることができます。「スクロール / 移動 ...」に設定されたサイドスイッチを押して、タブレットの操作エリアでペン先をドラッグします。

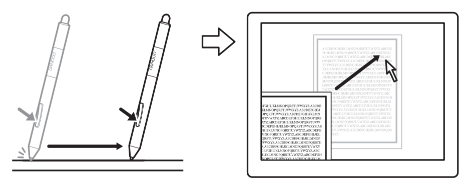
「スクロール / 移動 ...」を選択すると、手のひらツール（ピクセルレベル）でのパン機能をサポートしていないソフトウェアでのスクロール速度を設定することができます。

設定を遅くするとスクロール速度が下がることから、画像の正確な制御が必要な細かい作業がやりやすくなります。

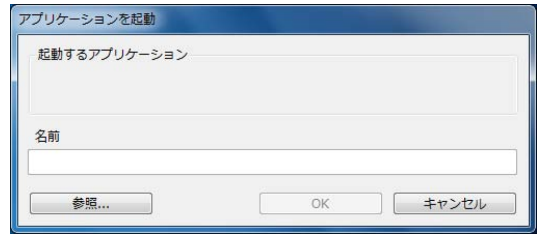


タブレット上でペン先を動かすと、画面上の文書や画像が移動します。

移動を終了する場合は、サイドスイッチから指を離す、またはタブレットからペン先を離してください。



Bamboo Dock	Bamboo Dock を開く、または前面に持ってきます。
Bamboo の設定	コントロールパネルを開きます。
デスクトップの表示	開いているウィンドウをすべて最小化して、デスクトップを表示します。
マッピング画像切り替え	マルチディスプレイシステムで使用します。この機能の割り当てられたファンクションキーを押すと、マッピングとポインタを現在のディスプレイから別のディスプレイへ切り替えることができます。「マッピング画面切り替えを使う」をご覧ください
タスク切り替え	「タスク切り替え」ダイアログが表示され、起動中のソフトウェアから前面に表示させたいソフトウェアを選択できます。Aero を搭載した Windows 7 または Windows Vista のシステムでは、フリップ 3D が起動して、前面に表示させたいソフトウェアを選択できます。

機能	説明
開く / 起動 ...	「アプリケーションを起動」ダイアログボックスを開きます。 「参照 ...」ボタンをクリックして、起動するソフトウェア、ファイル、またはスクリプトを選択します。選択した内容が、「起動するアプリケーション」ボックスに表示されます。その選択でよければ「OK」をクリックします。  ダイアログボックスが閉じ、選択した「開く / 起動 ...」オプションがデバイスボタンオプションとして割り当てられます。次回デバイスボタンを押すと、割り当てられたオプションが起動します。 ポップアップメニューのオプションとして割り当てた場合は、ポップアップメニューリストに表示されます。
タッチ機能 ON/OFF 切り替え	(Bamboo Pen タブレットでは利用できません)「タッチ機能 ON/OFF 切り替え」は、ペンで作業しているときの不用意なタッチ入力を防止したい場合に便利です（たとえば不用意な右クリックを避けるため)。「タッチ機能 ON/OFF 切り替え」機能を割り当てたファンクションキーを押すことによって、一時的にタッチ入力を無効にします。タッチ入力を再開にするには、再度このファンクションキーを押します。「タブレットとファンクションキーの機能をカスタマイズする」をご覧ください。
Ink 文字認識 ON/OFF	(Mac) Ink の「手書き認識」機能をオンとオフに切り替えます。Ink は筆跡を認識して、テキストに変換し、ドキュメントに挿入します。この機能を使用するには、Ink をオンにする必要があります。Ink の使い方については、Mac のヘルプをご覧ください。
タブレット PC	
• Tablet PC 入力パネル	Tablet PC 入力パネルに対応するタブレット PC、Windows で利用可能なオプションです。この機能が割り当てられたデバイスボタンを押すと、Tablet PC 入力パネルが開きます。
• Windows Journal	Windows Journal を含む Windows 7 、Windows Vista、タブレット PC で利用可能なオプションです。Windows Journal を開きます。
• Tablet PC の設定に従う	(Tablet PC 入力パネルをサポートする Windows システム) 以下のダイアログの設定に従い、ボタン機能を設定します。 「Tablet PC 設定」と「ペンと入力デバイス」コントロールパネル

機能	説明
Exposè	(Mac) 画面に開いているウィンドウをタイル表示します。ダイアログボックスで「キーストローク ....」→「特殊キー」メニューと選択して、このオプションを表示します。
筆圧一定	ボタンを押している間、筆圧を現在の筆圧レベルに保ちます。たとえば筆圧感度を使って描画をし、筆の太さが希望のレベルになったところでボタンを押すと、ボタンを離すまでは同じ太さで描画できます。
ペン⇔マウスモード…	ペンモードとマウスモードを切り替えます。タブレットの座標検出をご覧ください。
無効	ボタン機能を無効にします。
標準設定	ボタンを標準設定に戻します。

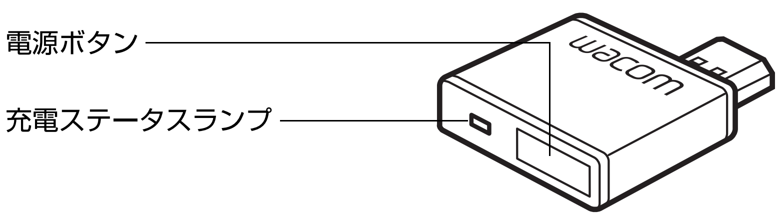
ワイヤレスで Bamboo シリーズを使う

Bamboo シリーズは、USB 接続とワイヤレス、両方のスタイルに対応しています。別売のワコムワイヤレスキットを使うことにより、ワイヤレスでのご使用が可能になります。自由で快適な使いごこちをお楽しみください。
「製品に関する重要なお知らせ」をご覧ください。

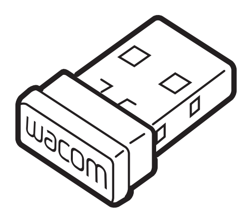
補足：ワイヤレス通信対応機種は、CTH-470 および CTH-670 です。CTL-470 は対応していません。

ワイヤレスキットの構成

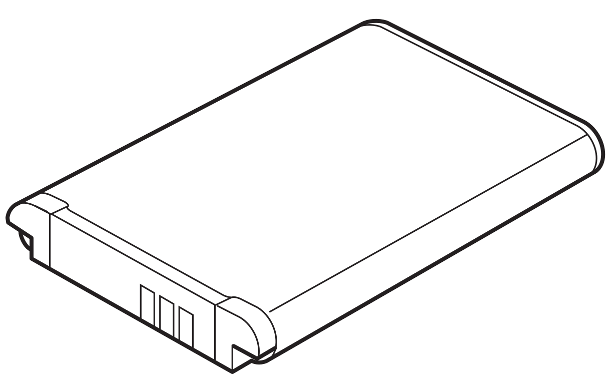
ワイヤレスキットの構成は以下の通りです：



ワイヤレスモジュール
Bamboo タブレットに接続するプラグです。



ワイヤレスレシーバー
コンピュータに接続します。
使用しないときはタブレットに収納できます。ワイヤレスレシーバーの保管をご覧ください。



充電式リチウムイオン電池
タブレット内部にセットします。

⚠ **警告**

製品安全上のご注意については「製品に関する重要なお知らせ」をご覧ください。「製品に関する重要なお知らせ」は別売のワイヤレスキットに付属しています。

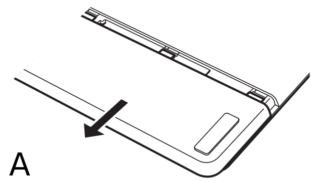
補足：ワイヤレスモジュールとワイヤレスレシーバーは、セットになった状態で販売されます。なくしたり破損した場合には、新しいワイヤレスキットをご購入ください。充電式リチウムイオン電池は単体でご購入いただけます。

ワイヤレスキットの接続のしかたは、ワイヤレスキットの取り付けをご覧ください。

ワイヤレスキットの取り付け

ワイヤレス通信のために、以下の作業を行います。

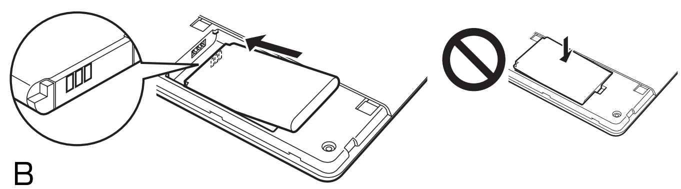
1. タブレットから USB 接続ケーブルを取り外します。
2. タブレットを裏返し、ワイヤレスキットカバーを取り外します。カバーをスライドさせタブレットから取り外します（図 A）。
   CTH-670 をお使いの場合は２箇所のカバーを取り外します：１箇所はワイヤレスモジュール用、もう１箇所は充電式リチウムイオン電池用です。

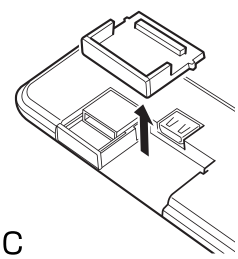

A

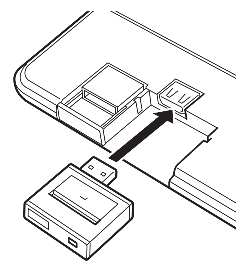
3. ワイヤレスキットを取り付けます。
   - 充電式リチウムイオン電池をセットします。タブレット側と電池側の端子部を合わせ（図 B）、矢印の方向にゆっくりと押し込みます。[電池を交換する](#)もご覧ください。
   - ワイヤレスモジュールを取り付けます。保護カバーを取り外し（図 C）、ワイヤレスモジュールをスライドさせて挿入し、コネクタ部分が完全に収まるまで確実に押し込んでください（図 D）。

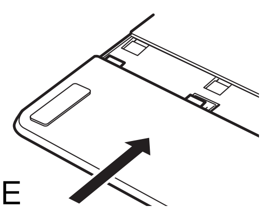
     重要：保護カバーは大切に保管しておいてください。ワイヤレスモジュールを取り外した場合に、タブレット内部をほこりから保護するために保護カバーが必要になる場合があります。[ワイヤレスモジュールを取り外す](#)をご覧ください。
   - ワイヤレスキットカバーを元通りに取り付けます。
     位置を揃えて所定の位置にスライドさせます (図 E)。
   - お使いのコンピュータの有効な USB ポートに、ワイヤレスレシーバーを接続します (図 F)。

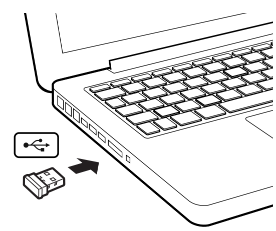
     レシーバーを使用しないときは、ワイヤレスレシーバー収納部に保管してください。[ワイヤレスレシーバーの保管](#)をご覧ください。


B


C


D


E


F

4. コンピュータを起動します。

システムが完全に起動したら、ワイヤレス通信を確立してください。

[ワイヤレス通信の確立](#)
[ワイヤレス通信を最適化する](#)

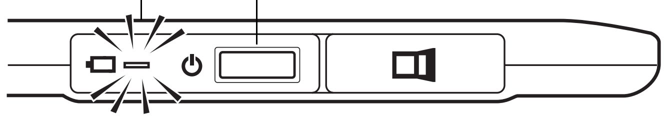
ワイヤレス通信の確立

タブレットとコンピュータ間をワイヤレス通信で接続します。

1. 起動しているコンピュータにレシーバーが挿してある状態で、ワイヤレスモジュールの電源ボタンを押します。数秒以内にワイヤレス通信が確立されます。確立されない場合は、ワイヤレスモジュールの電源が切れます。その場合はワイヤレス通信の問題をご覧ください。

   ペアリングを行う必要はありません。ワイヤレスモジュールとワイヤレスレシーバーは、工場出荷時にペアリングされており、ペアでひとつのセットとして機能します。

2. タブレット上でペンを使用して画面のポインタを動かし、接続を確認してください。電池およびワイヤレス通信の状態もご覧ください。
3. 電池を完全に充電します。電池の充電をご覧ください。



Bamboo シリーズはワイヤレス接続または USB 接続のどちらかで操作できますが、同時に両方を使うことはできません。

- ワイヤレス接続は、Bamboo シリーズがワイヤレス操作用に正しく設定され、USB 接続ケーブルが本体から外されている場合に有効となります。USB 接続ケーブルが本体から外されると、タブレットは自動で検索を開始し数秒以内にワイヤレスレシーバーに接続します。レシーバーが見つからない場合はスリープモードになります。
- USB 接続ケーブルを接続すると、自動的にワイヤレス接続から USB 接続に切り替わり充電が開始されます。

補足： Bamboo シリーズはお使いのコンピュータから約 10 メートルの範囲でワイヤレス操作できます。ワイヤレスモジュールは無線周波数の技術を使用しています。この無線波は、机のような金属以外の物体を通過することができます。また、Bamboo シリーズがワイヤレスレシーバーから「見える」位置にある必要はありません。

2.4 GHz 帯で動作する他のネットワークからの干渉や、お使いのコンピュータに接続された他のデバイス（オーディオなど）、あるいは電波の通り道やその近くに置かれた金属類は、タブレットの動作不良や通信障害を引きおこす可能性があります。もし、通信がうまくいかない場合は、ワイヤレス通信を最適化するをご覧ください。

コンピュータを起動した場合にはオペレーティングシステムの起動が完了するまで待ち、ワイヤレスモジュールの電源ボタンを入れて（最初にスイッチが入っていない場合）ワイヤレス操作を始めてください。

重要： ワイヤレスデバイスの使用は、国によって規制が設けられています。ワイヤレス操作に設定した Bamboo シリーズを持って旅行する場合には、渡航先の国で製品に適用される制限について、必ず関係規制当局にご確認ください。

⚠ 警告

ワイヤレス信号を使用する製品は、民間飛行機の機器を妨害することがあり、規則により、飛行機内すべてのワイヤレスデバイスの電源を切るよう要求されます。機内に持ち込む場合、Bamboo シリーズの電源スイッチをオフにするかモジュールを取り外し（ステータスランプは消灯します）、ワイヤレス信号がオフの状態にしてください。特に離発着、飛行時には決して電源スイッチをオンにしないでください。

⚠ 警告

極めて高い信頼性が要求される場所や、ワイヤレスタブレットがその他の電子機器の妨害または誤作動の原因になる恐れのある、施設管理システムやその他の環境では Bamboo シリーズをワイヤレスで絶対にお使いにならないでください。使用が禁止されている場合には、Bamboo シリーズの電源スイッチをオフにするかモジュールを取り外し（取り外し前に信号が切ってあることを確認）、その他の電子機器を妨害または誤作動の原因にならないようにしてください。弊社は直接的または間接的損害に対しての責任を一切負わないものとします。詳細については、「製品に関する重要なお知らせ」をご覧ください。

⚠ 警告

電子機器の使用が禁止されている場所では、タブレットの電源を切ってください。航空機内など電子機器の使用が禁止されている場所では、タブレットが他の電子機器に影響を与える可能性があります。コンピュータから USB 接続ケーブルを抜いて、タブレットのワイヤレスモジュールの電源を切ってください。

ワイヤレス通信を最適化する

ポインタがタブレット上のペンの動きに遅れたり意図しない動きをする場合や、グラフィックソフトウェアで描画している時に極端にまっすぐな線が表示される場合には、ワイヤレス機能が最適な速度でタブレットからのデータを送信できていない可能性があります。これは、その他の電波発生源からの妨害、電波経路にある障害物、またコンピュータから離れすぎているなど複数の理由が考えられます。

以下の対策を行ってワイヤレス通信を向上させ、タブレットの操作性を最適化してください。

- Bamboo シリーズとコンピュータに取り付けたワイヤレスレシーバーの電波経路上にある金属類を取り除く。
- タブレットをコンピュータに近づける。
- WiFi ネットワーク、携帯電話などの 2.4GHz 無線周波数で動作するすべてのデバイスの電源を切るか、コンピュータから遠ざける。

電池および電源管理

このセクションでは、Bamboo シリーズをワイヤレス接続に設定した場合の充電式リチウムイオン電池および電源管理の機能に関する重要な情報を記載しています。必ず以下の項目をご覧ください。

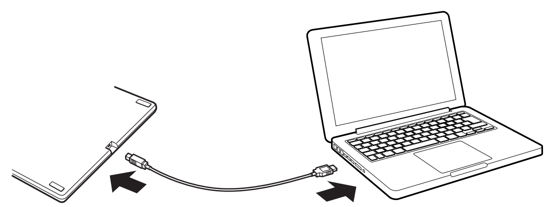
電池の充電
電池およびワイヤレス通信の状態
省電力機能

電池の充電

Bamboo シリーズをワイヤレス接続でご使用になる前に、充電式リチウムイオン電池を十分に充電しておきます。

Bamboo シリーズとコンピュータの USB ポートとの間に USB ケーブルを接続します。

- USB 接続ケーブルが接続されている場合、フル充電になるまで自動で充電されます。
- 充電時間は、通常使用の場合は約 4 時間、電池残量 0 の状態からフル充電の場合は約 6 時間かかります。実際の充電時間は、電池の残量および充電中のタブレットの使用状況により変わります。
- 充電中は USB 接続になるため、ワイヤレスでの操作はできません。

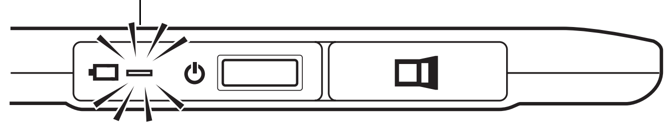


重要：USB ハブではなく必ずコンピュータ本体の USB ポートと接続し充電してください。USB ハブによっては充電するための電流を供給できない場合があり、その場合はタブレット操作に影響を及ぼす場合があります。

USB 接続ケーブルでタブレットとコンピュータを接続していない場合に、USB AC アダプタを使用して充電することができます。ただし、この方法で急速充電を行うことはできません。

充電ステータスランプ

- USB ケーブルが接続され、かつ電池が充電中のときはオレンジ色に点灯します。
- USB ケーブルが接続され、かつ電池がフル充電のときは緑色に点灯します。



警告

安全上のご注意については「製品に関する重要なお知らせ」をご覧ください。

ヒント：充電するときは、電池およびワイヤレスモジュールの両方がタブレットに取り付けられていることを確認してください。

電池の充電状態をチェックする場合は、コントロールパネルを開き「タブレット」タブを選択します。

電池およびワイヤレス通信の状態をご覧ください。
省電力機能と電池寿命についてもご覧ください。

電池およびワイヤレス通信の状態

ワイヤレス接続でのタブレットの状態表示は以下の通りです。

- ステータスランプ（タブレット）：

青色に点滅	ワイヤレス通信の確立中。
青色	ワイヤレス接続が有効。
消灯	スリープモード、またはワイヤレス接続が無効。

- 充電ステータスランプ（ワイヤレスモジュール）：

オレンジ色	USB 接続ケーブルから充電中。
緑色	USB 接続ケーブルから充電完了。（フル充電）
消灯	USB 接続で、サスペンドまたは通信中。 USB 接続ケーブルが外れている。充電が行われていない。

- システムのタスクトレイ（Windows）またはメニューバー (Mac) に充電ステータスアイコンが表示されます。ポインタをアイコン上に置くと、アイコンの情報が表示されます。

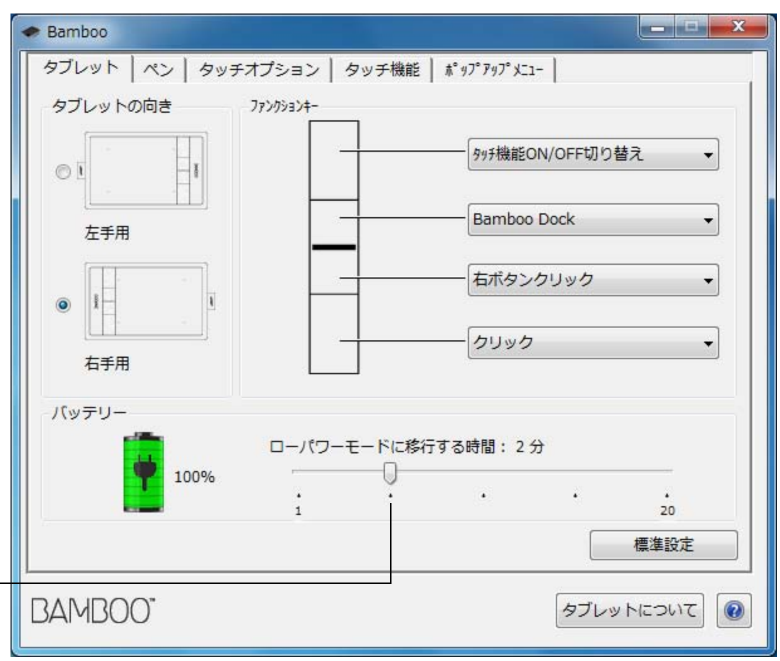


- コントロールパネルの「タブレット」タブを、電池残量およびオプション情報を表示するように設定します。

充電ステータスアイコンはタブレットが使用中であることと、おおよその充電残量を表示します。

- 電源プラグの表示は、タブレットが USB 接続の外部電源で動作中、および充電中であることを示します。
- チェックマークの表示はフル充電の状態であることを示します。
- アラートマークの表示は電池残量が 20% 未満であることを示します。

以上は充電ステータスアイコンの基本機能の一部です。お使いの機種やオペレーティングシステムの状態によって、様々な表示が表れます。[省電力機能](#)もご覧ください。



スライダーを調節し、節電モードに切り替わる条件を決定します。

省電力機能

ワイヤレス操作に設定されているとき、Bamboo シリーズには、電池の電力を節約しつつ、性能を保つよう設計された多くの節電機能が搭載されています。

省電力モード	入力のない状態が 2 分以上続くと、タブレットは省電力モードに入ります。時間の設定はコントロールパネルで変更できます。電池およびワイヤレス通信の状態をご覧ください。 操作を再開するには、お使いの機種により、タブレットに触れる、ファンクションキーを押す、ペンを検出範囲に持ってくるのいずれかを行います。
スリープモード	以下の場合にタブレットはスリープモードになります： • ワイヤレス通信のない状態が 4 秒以上続いた場合。コンピュータの電源を切るかタブレットを通信範囲の外に移動させる、あるいはワイヤレスレシーバーを取り外した場合です。この状態から操作を再開するには、コンピュータの電源を入れ、タブレットをコンピュータとの通信範囲内に置き、ワイヤレスモジュールの電源ボタンを押します。タブレットのテストをご覧ください。 • 入力のない状態が 30 分以上続いた場合。 • 電池残量が極端に少ない場合。直ちに充電を行います。 **操作を再開するときは、**ワイヤレスモジュールの電源ボタンを押します。お使いの機種に応じて、指またはペンでタブレット操作面に触れ、タブレットに沿って動かすと、タブレットの機能が復帰します。 **手動でスリープモードに移行するときは、**ワイヤレスモジュールの電源ボタンを押します。

作業が終了したら、ワイヤレスモジュールの電源を切り、電池の電力を節約します。

重要：ワイヤレスモジュールのスイッチが入っていると、常に電池からタブレットに電流が流れ続けています。スリープモード中でも微量の電流が流れ続けるため、電池が放電して故障の原因になる場合があります。数日間タブレットを使用しない場合は、電池を充電してからワイヤレスモジュールの電源は切ってください。電池寿命についてをご覧ください。

電池寿命について

充電式リチウムイオン電池がフル充電されている場合、通常では約 8 時間のワイヤレス操作が可能です。しかし電池はご使用につれ劣化し蓄電能力が低下します。

- ご使用状況にかかわらず、充電式リチウムイオン電池の標準寿命は約 2 年です。
- 充電式リチウムイオン電池の寿命と性能は、電池の使用と再充電を繰り返し行っても改善はされません。
- 画面に電池残量が少ないという警告が表示されたときは、速やかに充電を行ってください。
  省電力機能もご覧ください。
- 電池電圧が最低安全レベルよりも低下した場合、電池の内部保護回路が作動し、電池を充電することができなくなります。

  電池の残量が少ない状態で、電池が長期間タブレット内にあると、電池から少量の電流が流れ、電池が放電しやすくなります（過放電）。この場合、電池の内部保護回路が作動し、電池を充電することができなくなります。長期間タブレットを使用しない場合は、タブレットから電池を取り出して保管してください。

  過放電された電池は、充電ができなくなります。
- ワイヤレスモジュールのスイッチが入っているときは、タブレットにはいつでも電池から電流が流れています。充電レベルが極度に低下すると、タブレットは電池残量を減らさないために、スリープモードに入ります。この場合は充電を行ってください。

  スリープモード中でもタブレットは少量の電力を消費し続けます。数日間タブレットを使用しない場合は、電池を充電してからワイヤレスモジュールの電源を切ってください。
- 長期間（1 カ月以上）保管する場合、電池をある程度充電し（約 40%の充電を推奨）、涼しい場所に保管してください。タブレットと電池の両方を保管する場合電池を取り外す必要はありません。

  補足：充電式リチウムイオン電池を使用せず 6ヶ月間以上経過すると、再充電できなくなることがありますのでご注意ください。

電池が劣化して十分な充電量を維持できなくなるか充電できなくなった場合には、新しい電池を購入する必要があります。「製品に関する重要なお知らせ」をご覧ください。

⚠ 警告

リチウムイオン充電池を安全にお使いいただくために、必ず別売のワイヤレスキットに付属の「製品に関する重要なお知らせ」または充電式リチウムイオン電池に付属の「取扱説明書」をお読みください。

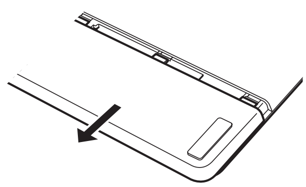
電池を交換する

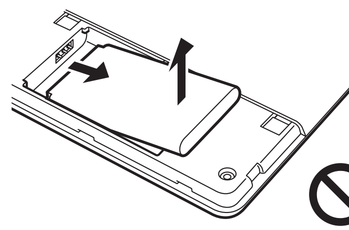
タブレットの電池が寿命で充電や蓄電ができなくなった場合、電池を交換する必要があります。お使いのタブレットに対応した充電式リチウムイオン電池以外はご使用になれませんのでご注意ください。
「製品に関する重要なお知らせ」をご覧ください。

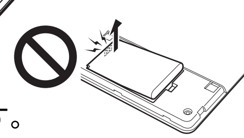
重要：必ずお使いのワイヤレスキット専用の充電式リチウムイオン電池をご使用ください。

電池を交換する：

1. タブレットを裏返し、ワイヤレスキットカバーを取り外します。CTH-670 をお使いの場合は２箇所のカバーを取り外します。１箇所はワイヤレスモジュール用、もう１箇所は充電式リチウムイオン電池用です。カバーをスライドさせタブレットから取り外します。
2. 下の図を参考に、使用済み電池（古い電池）を取り外します。
3. 新しい充電式リチウムイオン電池をセットします。下の図を参考に、タブレット側と電池側の端子部を合わせ、電池収納部にゆっくりと押し込みます。
4. ワイヤレスキットカバーを元通りに取り付けます。位置を揃えて所定の位置にスライドさせます。
5. USB 接続ケーブルを接続し、電池を充電します。電池の充電をご覧ください。

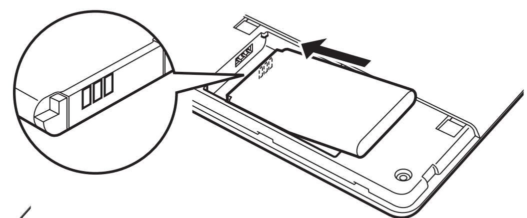






古い電池を取り外します。

電池を取り出す場合、電池の端を持ち上げてからスライドさせてください。



新しい電池をセットします。

電池の端子部を損傷しないように、図のような角度で電池をゆっくりと挿入してください。

重要：電池を交換するときに、硬い物の上などに電池を落とさないようにご注意ください。電池内部が破損するおそれがあります。また落とした電池は、破損したように見えない場合でも新しい電池と交換してください。万一タブレット内部でショートや液漏れが発生した場合、タブレットが故障する恐れがあります。

⚠ **警告**

安全上のご注意については、別売のワイヤレスキットに付属の「製品に関する重要なお知らせ」または充電式リチウムイオン電池に付属の「取扱説明書」をご覧ください。

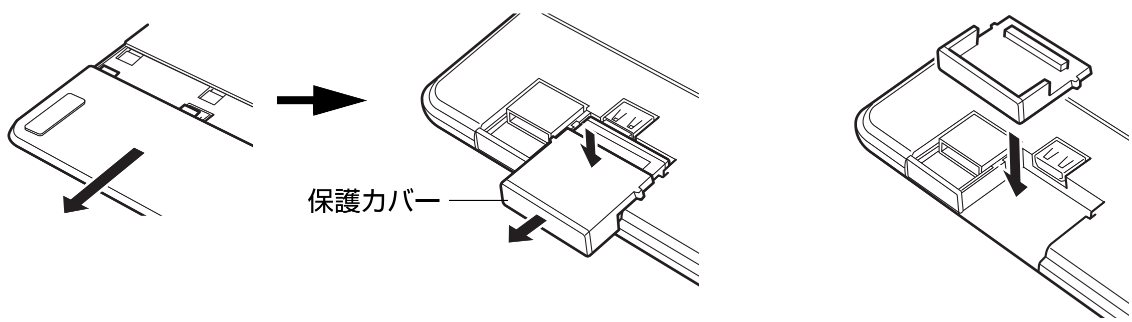
多くの地域で自主的または強制的リサイクルプログラムを実施しています。ご使用済みの電池は、お住まいの地域の条例に従って、さらに「製品に関する重要なお知らせ」に記載されているリチウムイオン電池に関する安全上のご注意をお読みの上、適切にリサイクルしてください。電池はお子様の手の届かない所に保管し、使用済みの電池は直ちにリサイクルしてください。

ワイヤレスモジュールを取り外す

ワイヤレスモジュールは、タブレットに装着した後は取り外さずそのままお使いいただけます。ワイヤレスモジュールを取り外す場合は：

1. タブレットを裏返し、ワイヤレスキットカバーを取り外します。CTH-670 をお使いの場合は２箇所のカバーを取り外します。１箇所はワイヤレスモジュール用、もう１箇所は充電式リチウムイオン電池用です。カバーをスライドさせタブレットから取り外します。
2. 保護カバー内側の出っ張りをワイヤレスモジュールの溝に合うようにかぶせ、保護カバーをフックのように引っ掛けてワイヤレスモジュールを浮かせてスライドさせ、タブレットから取り外します。保護カバーを使えない場合は、お手持ちの金属製ではない工具を使ってワイヤレスモジュールを浮かせて取り外します。
3. ワイヤレスモジュールから保護カバーを外し、下図のようにワイヤレスモジュール収納部に押し込みます。
4. ワイヤレスキットカバーを元通りに取り付けます。位置を揃えて所定の位置にスライドさせます。

   取り外したワイヤレスモジュールはワイヤレスレシーバーとペアで大切に保管してください。

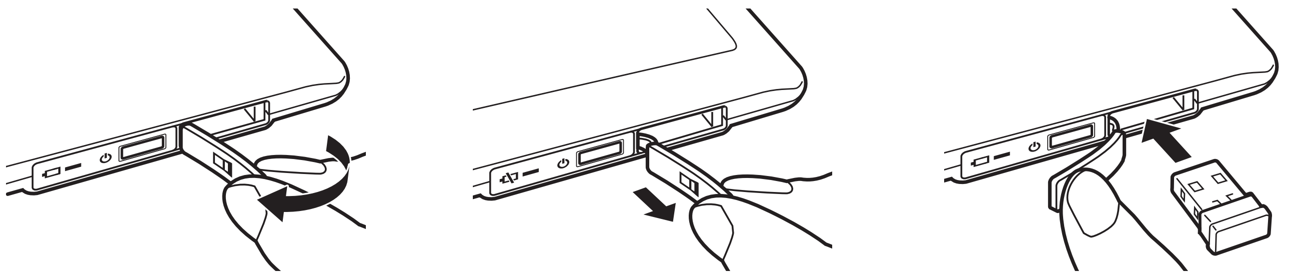


ワイヤレスレシーバーの保管

ワコムワイヤレスレシーバーは、持ち運びのしやすさを考えて設計されています。お使いのコンピュータの USB ポートに取り付ければ、取り付けたままいつでも使用することができます。
旅行先に Bamboo シリーズを携帯する場合も同じです。

移動時などにはワイヤレスレシーバーを取り外し、タブレット本体に収納することもできます。収納のしかたは以下の通りです：

1. お手持ちの金属製でない工具や指先を使用して、ワイヤレスレシーバー収納部を開きます。
2. 収納部のフタを開き、内部の収納部カバーを少し引き出します。
3. レシーバーを収納部カバー内に挿入します。
4. 収納部カバーをスライドさせて元の位置に戻し、フタを閉じます。



<u>タブレットからワイヤレスレシーバーを 取り出すには</u>、収納部を開きます。内部の収納部カバーを少し引き出し、レシーバーを取り出します。取り出したら収納部カバーを押し込んで元の位置に戻し、フタを閉じます。

トラブルシューティング

もし、トラブルがあった場合、以下のことを行ってください。

1. タブレットドライバが正しく読み込まれなかった場合、画面に表示されるエラーメッセージで推奨される処置をまず行ってください。それでも問題が解決されない場合は、本章のトラブルシューティング手順を調べてください。
2. トラブルシューティング情報をご覧ください。問題が記載されている場合、その指示に従ってみてください。
3. タブレットの「Read Me」ファイルを開いて、最新情報をお読みください。
4. ワコムのホームページの FAQ（よくある質問）を参照してください。
5. Bamboo シリーズと新しいハードウェア、またはソフトウェア製品間に互換性の問題が発生した場合、新しいタブレットドライバが利用できるかチェックしてください。更新したタブレットドライバのダウンロードに関する情報については、ドライバのダウンロードをご覧ください。ワコムは新製品との互換性を維持するために、ドライバソフトウェアを定期的に更新しています。
6. タブレットとペンを診断します。タブレットのテストとペンのテストをご覧ください。
7. このマニュアルの解決のポイントを読んでも、問題が解決しそうにない場合、ワコムのサポート窓口にお問い合わせください。サポートに関する情報については、テクニカルサポートおよび「Read Me」ファイルをご覧ください。

タブレットのテスト
ペンのテスト
トラブルシューティング情報
テクニカルサポート
ドライバのダウンロード

タブレットのテスト

1. コンピュータのスイッチを入れて、システムが完全に読み込まれるまで待ちます。
2. **USB 接続をチェックします。**タブレットが正しく接続され、コンピュータがそれを USB デバイスとして認識すれば、タブレットのステータスランプが点灯します。そうならない場合は、以下を参照してください。
   - タブレットの USB 接続ケーブルが、コンピュータの利用可能な USB ポートにしっかり接続されていることを確認します。
   - タブレットの USB 接続ケーブルに損傷がないかチェックします。
   - コンピュータのスイッチを入れて立ち上げた後、ステータスランプが点灯しなければ、USB ポートの故障が考えられます。タブレットが利用可能な USB ポートに接続されていることを確認します。
   - 別の USB ポートにタブレットを接続するか、または別のコンピュータ（本体）の USB ポートに接続してみてください。
3. ワイヤレス操作**については、タブレットの通信をチェックします。**タブレットが適切に接続されていて、お使いのコンピュータがタブレットを USB デバイスとして登録すると、タブレットのステータスランプが点灯します。点灯しない場合には以下のことを行ってください：
   - ワイヤレスモジュールのスイッチが入っているかを確認します。電池およびワイヤレス通信の状態をご覧ください。
   - ワイヤレスモジュールおよびワイヤレスレシーバーが正しく取り付けられているかを確認します。ワイヤレスキットの取り付けをご覧ください。
   - 電池およびワイヤレス通信の状態を参考に、電池残量を確認します。電池残量が少ない場合は、USB 接続ケーブルを接続し充電を行います。電池の充電をご覧ください。
   - ワイヤレスモジュールのスイッチをオフにし、再度オンにします。
   - タブレットをお使いのコンピュータに近づけます。タブレットとコンピュータの間の電波経路に金属類など高密度の障害物がないことを確認してください。
4. **タッチおよびペン入力をチェックします。**
   - **タッチ入力をチェックします。** タブレット面で指を動かして、画面のポインタが動くことを確認します。 次にタップして項目を選択します。 タブレットの操作エリアにタッチして、ステータスランプが明るくなることを確認します。

     タブレットドライバが正しく読み込まれていない場合、タッチ操作では「トラック」のみ、ファンクションキーでは標準設定「クリック（一番下のキー）」「右ボタンクリック（下から２番目のキー）」のみ認識されます。その他の動作は認識されません。このような場合は、タブレットドライバの再インストールを行ってください。
   - **ペン入力をチェックします。** タブレットドライバが正しく読み込まれていない場合、ペン入力は利用できません。
     このような場合は、タブレットドライバの再インストールを行ってください。ペンのテストもご覧ください。

5. **ファンクションキーをチェックします。** 各キーを順番に押してチェックします。タッチまたはペン入力していない状態で、キーを押すたびにステータスランプが明るくなれば正常です。次にコントロールパネルを開いて、「タブレット」タブを選択します。「標準設定」ボタンをクリックして、タブレットを標準設定に戻します。
   - タッチ入力のオフ／オンを切り替えるには、一番上のファンクションキーを押します。
   - 上から 2 つ目のキーを押して、Bamboo Dock（インストール済みの場合）を開きます。
   - デスクトップ上の使用しないフォルダの上にポインタを置き、3 番目のファンクションキーを押して右クリックが実行されることを確認します。
   - デスクトップ上の使用しないフォルダの上にポインタを置き、一番下のファンクションキーを押してクリックが実行されることを確認します。
6. これらのテストのいずれかに不合格の場合、ハードウェアの故障が考えられます。テクニカルサポートをご覧ください。

テスト前にカスタム設定を使っていた場合は、テストが終わったらコントロールパネルを使って設定を元に戻してください。

ペンのテスト



1. タブレットのテストを行います。
2. **コントロールパネルを開き「ペン」タブを選択した後、ペンをチェックします。**「標準設定」ボタンをクリックして、ペンを標準設定に戻します。次に、以下の手順でチェックします。
   - タブレットの操作エリアにペン先でタッチします。次にテールスイッチ（消しゴム）でタッチします。ペン先またはテールスイッチがタブレット面に触れるたびに、ステータスランプは以下のように反応します。

     CTH-470 および CTH-670：ステータスランプが白く光ります。

     CTL-470：ステータスランプが明るくなります。
   - ペン先に圧力を加えることなく、タブレット面から約 7 mm 以内にペン先を保持して、サイドスイッチを順番に押します。 サイドスイッチを押すたびにステータスランプの状態が変化すれば正常です。

     CTH-470 および CTH-670：ステータスランプが白く光ります。

     CTL-470：ステータスランプが明るくなります。
   - タブレット面に触れることなく、タブレット面から約 7 mm 以内にペン先を保持しながら、ペンをタブレットの操作エリアで移動させます。画面のポインタが、ディスプレイ画面の対応する方向に移動すれば正常です。
3. これらのテストのいずれかに不合格の場合、ハードウェアの故障が考えられます。テクニカルサポートをご覧ください。
4. テスト前にカスタム設定を使っていた場合は、テストが終わったらコントロールパネルを使って設定を元に戻してください。

トラブルシューティング情報

タブレットまたはペンで問題が生じた場合、次の表をご覧ください。問題が説明され、解決策が提示されていたら、試してください。また、「Read Me」ファイルを確認してください。最新の情報が記載されています。

問題のより詳細な情報については、ワコムのホームページ（http://wacom.jp/jp/customercare/）をご覧ください。

一般の問題

タブレットのステータスランプが点灯しない。	タブレットの USB 接続ケーブルが、利用可能な USB ポートに正しく接続されていることを確認します。 ワイヤレス接続でお使いの場合は、ワイヤレス通信の問題をご覧ください。
コンピュータが節電モードにならない。	ペンを使用しない場合、タブレット面上に置かないでください。置いたままにすると、タブレットはデータを送り続け、コンピュータは節電モードにはなりません。 **補足**：金属その他の導電性の物体の中には、タブレットがデータを送る原因となるものがあるため、使わないときはタブレット面に何も置かないのが一番です。
タブレット使用中に、画面のポインタが揺れたり、飛び回ったりする。	まれに、タブレットはコンピュータ画面あるいは AM ラジオ局から電磁波の影響を受ける場合があります。ディスプレイからの電磁波による影響に気付いた場合、タブレットをディスプレイから 30cm 以上離してみてください。あるいは、ディスプレイのリフレッシュレートまたは解像度を変更してください。
タブレットは「右手用」（または「左手用」）用に設定されているが、ログオン画面ではタブレットが上下逆に動作する。	タブレットドライバをインストールし直し、タブレットの標準設定の向きを変更します。タブレットの向きを設定する をご覧ください。

タッチ入力時の問題

タッチ入力ができない。	「タッチ機能 ON/OFF 切り替え」に設定されたファンクションキーを押して、タッチ入力を有効に戻します。あるいはコントロールパネルを開いて「タッチオプション」タブ、または「タッチ機能」タブを選択し、「タッチ入力を有効にする」オプションを選択します。
タッチ入力が一部しか機能しない。画面のポインタは動かせるが、もっと複雑な動作やジェスチャーは機能しない。	タブレットドライバが正しく読み込まれていない場合には、タッチ操作では「トラック」のみ、ファンクションキーでは標準設定「クリック（一番下のキー）」「右ボタンクリック（下から２番目のキー）」のみ認識されます。その他のタッチ操作やジェスチャーは認識されません。このような場合は、タブレットドライバの再インストールを行ってください。
複数の指で入力した場合に、正しく認識されない。	指同士が近づきすぎている場合、タブレットは別々の指として認識していない可能性があります。指同士をもう少し離して動かしてください。
Adobe Photoshop 使用中に、ズームイン、ズームアウトができない。	Photoshop の「環境設定」オプションで「スクロールホイールズーム」機能が選択されていないことを確認してください。
Adobe Photoshop で作業するときに、ジェスチャーのスクロールとパンが正しく動作しない。	Photoshop の「環境設定」オプションで「スクロールホイールズーム」機能が選択されていないことを確認してください。
ソフトウェアによってジェスチャーの回転の動作が変わる。あるいは全く機能しない。	回転機能は、お使いのソフトウェアによって動き方が異なります。90 度単位で滑らかに回転する場合もあれば、全く回転しない場合もあります。これは各ソフトウェアの仕様であり、タブレットの故障によるものではありません。 このジェスチャーをタブレットに正しく認識させるために、２本の指を斜めに２５ mm 以上離してからタブレット操作面に置き、回転中もその間隔を維持してください。

ペン入力時の問題

ペンで画面のポインタの移動ができない、あるいは別の動作をする。	タブレットドライバが正しく読み込まれていない可能性があります。タブレットドライバが読み込まれていないときの動作としては以下のようになります。 • ファンクションキーの標準設定「クリック（一番下のキー）」「右ボタンクリック（下から２番目のキー）」のみ認識されます。その他の動作は認識されません。 このような場合は、コントロールパネルの「プログラムと機能」あるいは「プログラムの追加と削除」から Bamboo のプロパティ / Bamboo を削除し、コンピュータを再起動後、タブレットドライバを再度インストールしてください。
ペンで筆圧感度を使った線を引く、塗るなどの動作ができない。	ご使用のソフトウェアが筆圧機能に対応しているかどうかを、ソフトウェアの取扱説明書や発売元にご確認ください。ソフトウェアによっては、筆圧機能を利用可能にするための設定が必要な場合があります。 また、お使いのソフトウェアが筆圧に対応していることを確認してください。
クリックが利かない。	コントロールパネルを開いて、「ペン」タブを選択します。「ペン先の感触」を柔らかく設定してください（ペン先と消しゴムの感触、ダブルクリックを調整するをご覧ください）。 ペンでマウスのクリックを行うと聞こえるように、「クリック音」オプション（チェックボックスのチェックが必要です）を選択します。クリック音を聞くには、コンピュータのスピーカを ON にして、聞こえるようにボリュームを設定しなければなりません。
ペン先でダブルクリックが利かない。	タブレットの操作エリアの同じ場所を 2 回、速くたたいていることを確認してください。 サイドスイッチの 1 つをダブルクリックに設定することをお勧めします（クリックの方法をご覧ください）。 コントロールパネルを開いて、「ペン」タブを選択し、以下を試してください。 • 「ダブルクリック距離」を大きくしてみます。 • 「ペン先の感触」を柔らかく設定します。 **Windows の場合：** 1 回のクリックでプログラムが起動するように設定します。クリックをご覧ください。
ペンがあらゆるものを選択する。選択が解除できない。	コントロールパネルを開いて、「ペン」タブを選択します。「ペン先の感触」スライダを「硬い」方に動かします。これで効果がない場合は、ペンのテストをご覧ください。
消しゴムがあらゆるものを選択する。消し続ける。	コントロールパネルを開いて、「ペン」タブを選択します。「消しゴムの感触」スライダを「硬い」方に動かします。これで効果がない場合は、ペンのテストをご覧ください。
ペンまたはインクのストロークの開始が遅れる。	コントロールパネルを開いて「ペン」タブを選択し、「ダブルクリック距離」を小さくしてみます。

クリック、描画、あるいは文字を書くときに、ペンを強く押さなければならない。	コントロールパネルを開いて、「ペン」タブを選択します。「ペン先の感触」スライダを「柔らかい」方に動かします。
ペン先が利かない。	ペン先でタブレットを押すと、お使いの機種により、ステータスランプは明るくなるかまたは色が変わります。必ず製品に付属のペンを使用してください。他のペンは、本機で正しく機能しない場合があります。 ペンのテストを参考に、ペン操作を確認してください。テストのいずれかが不合格の場合は、ハードウェアの故障が考えられます。
画面のポインタがジャンプして引き戻される。	使用していないときや、他のポインティングデバイスを使用しているときには、タブレットの上にペンを置かないでください。ペンをタブレットの上に置いたままですると、ほかの入力デバイスを使ったときに、画面のポインタの移動ができなくなる場合があります。
上下どちらかのサイドスイッチが利かない。	タブレットの操作エリアから 7 mm 以内にペン先があるときに、サイドスイッチを押してください。ペン先でタブレットを押さずにこれを行ってください。 コントロールパネルで、実行したい機能にサイドスイッチが設定されていることを確認してください。 コントロールパネルで「ペン」タブを選択し、「詳細設定」ボタンをクリックして「サイドスイッチエキスパートモード」を確認してください。 「ペン先とともにクリック」を選択した場合、クリック機能を実行するには、最初にサイドスイッチを押してから、ペン先でタブレット面にタッチする必要があります。サイドスイッチのカスタマイズをご覧ください。 ペンのテストを参考に、ペン操作を確認してください。テストのいずれかが不合格の場合は、ハードウェアの故障が考えられます。
ポインタが画面上の思う位置に移動しない。またはペイントソフトで、描いた線とポインタの位置が合わない。	コントロールパネルを開いて、「ペンモード」が選択されていることを確認します。設定に問題がない場合は、「標準設定」ボタンをクリックして、タブレットから画面へのマッピングを標準設定に戻します。効果がない場合は、タブレットの設定ファイルを削除してください（詳しくは Windows の問題または Mac の問題をご覧ください）。

ワイヤレス通信の問題

コンピュータに使用可能な USB ポートがない。	現在使用していない周辺機器があれば、USB ポートから取り外してください。ない場合は、コンピュータに USB カードを追加してください。
ワイヤレスモジュールの電源ボタンを押すと、タブレットのステータスランプが約 4 秒間点灯した後に電源が切れる。	ワイヤレス通信が確立していない場合、約 4 秒後にワイヤレスモジュールの電源が切れます。 • ワイヤレスレシーバーがコンピュータの有効な USB ポートに正しく接続されているかを確認してください。 • タブレットをお使いのコンピュータに近づけ、タブレットとコンピュータの間の電波経路に金属類など高密度の障害物がないことを確認してください。 再度電源ボタンを押して、ワイヤレス接続を有効にします。
ワイヤレスモジュールの電源を入れると、ステータスランプは正常に機能していることを示すが、画面のポインタがペンに連動しない。	タブレットの使い方が誤っていないか確認する。 ペンを使うを再度ご覧ください。 ワイヤレスモジュールのスイッチをオフにし、再度オンにします。 電池残量が少ない場合は電池の充電を行ってください。
ワイヤレス通信は確立しているがタブレットが正しく動作しない。	タブレットドライバが正しくインストールされているか確認してください。 また、 ワイヤレス通信を最適化するをご覧ください。
USB 接続ケーブルを外すとタブレットが動作しなくなる。	ワイヤレスモジュールとレシーバーが正しく取り付けられ、ワイヤレスモジュールの電源が入っていることを確認してください。 電池およびワイヤレス通信の状態を参考に、電池残量を確認してください。 • タブレットのワイヤレスキットカバーを開き、充電式リチウムイオン電池およびワイヤレスモジュールが正しく取り付けられているか確認してください。CTH-670 をお使いの場合は 2 箇所のカバーを取り外します。 1 箇所はワイヤレスモジュール用、もう 1 箇所は充電式リチウムイオン電池用です。 • 電池に液漏れや破損がないか確認してください。 • 電池を一晩充電してから再度試してください。問題が解消されなければ、電池の寿命、または破損の可能性がありますので、新しい電池と交換してください。電池の購入については、 利用可能なオプション品をご覧ください。 • ワイヤレスレシーバーとワイヤレスモジュールが購入時の組み合わせと異なる場合は、タブレットは動作しません。購入時の組み合わせに戻してください。

ワイヤレスモジュールの電源ボタンを押しても、タブレットのステータスランプが点灯しない。	再度電源ボタンを押し、以下を確認してください。 1. ワイヤレスレシーバーがコンピュータ本体の有効な USB ポートに正しく接続されているか確認してください。USB ハブに接続されている場合は、コンピュータ本体の USB ポートに接続してください。 2. ワイヤレスモジュールがタブレットに正しく接続されているか確認し、電源ボタンを押してワイヤレス通信を確立してください。 3. 以上を行ってもステータスランプが点灯しない場合は、タブレットとコンピュータを USB 接続ケーブルを接続してください。 ワイヤレスモジュールの充電ステータスランプを確認します。オレンジ色の場合は、電池が充電中です。緑色の場合は、電池がフル充電状態です。点灯しない場合は、電池の寿命、または破損の可能性がありますので、新しい電池と交換してください。 4. タブレットとワイヤレスモジュールのステータスランプが両方とも点灯しない場合には、ワコムテクニカルサポートに連絡してください。 テクニカルサポートをご覧ください。
一部のソフトウェアでポインタまたはペンストロークが遅れたり、ポインタが飛び回ったりする。	ワイヤレス通信を最適化するをご覧ください。
コンピュータがスリープモードになると常に充電が停止するようにみえる。	コンピュータがスリープモードになると充電はされません。充電中にスリープモードに入らないように、お使いのシステムの省電力機能を設定する必要があります。

Windows の問題

タブレットの設定ファイルが壊れている。または、設定ファイルを標準設定の状態にもどしたい。	「Bamboo 設定ファイルユーティリティ」を使用して、再設定を行います。開いているソフトウェアをすべて閉じ、Windows の「スタート」ボタンをクリックし「すべてのプログラム」を選択します。次に、「Bamboo」から「Bamboo 設定ファイルユーティリティ」を選択します。 • 作業を始める前にタブレット設定のバックアップを作成することをお勧めします。「Bamboo 設定ファイルユーティリティ」ダイアログボックスで、「バックアップ」をクリックし、画面の指示に従って設定します。 • 次に「Bamboo 設定ファイルユーティリティ」を使用して、以下の手順でタブレットの設定を削除します： **シングルユーザの場合：**「ログインユーザーの設定ファイル」の「削除」をクリックし、現在のユーザ設定を削除します。 **マルチユーザの場合：**「すべてのユーザーの設定ファイル」の「削除」ボタンをクリックし、マルチユーザの設定を削除します。すべてのユーザの設定ファイルを削除するには、administrator 権限が必要です。現在開いているタブレット用ソフトウェアを再起動してください。 以前の設定ファイルのバックアップがある場合は、「ログインユーザーの設定ファイル」の「復元」ボタンをクリックするとタブレットの設定を素早く復元できます。

Mac の問題

コンピュータを起動すると、ドライバの読み込みに失敗したか、あるいはタブレットの設定ファイルがまだ作成されていないという内容のダイアログボックスが表示される。	起動時にタブレットが検出されませんでした。 **ワイヤレス通信を行っている場合：** • 電池およびワイヤレス通信の状態を参考に、ワイヤレス通信が正常に行われていることを確認してください。 • 「移動」メニューから「ユーティリティ」を選択して、「システムプロファイラ」を立ち上げます。「内容」の中の「ハードウェア」から「USB」を選択します。ワコム USB タブレットの機種がリストされています。タブレットの機種がリストにない場合、ワイヤレス接続を確認してください。 **付属の USB 接続ケーブルで接続されている場合：** • USB接続ケーブルがコンピュータ本体の有効なUSBポートにしっかり接続されていることを確認してください。また、タブレットのステータスランプが点灯していることを確認してください。 • 「移動」メニューから「ユーティリティ」を選択し「システムプロファイラ」を立ち上げます。「内容」の中の「ハードウェア」から「USB」を選択します。ワコム USB タブレットの機種がリストされています。タブレットの機種がリストにない場合、USB タブレットのケーブル接続を確認するかタブレットを別の USB ポートに接続してみてください。 これで解決しない場合は、タブレットドライバを再インストールしてください。 それでも解決しない場合は、ワコムのテクニカルサポートに連絡してください。 テクニカルサポートをご覧ください。

タブレットの設定ファイルが壊れている。または、設定ファイルを標準設定の状態にもどしたい。

「Bamboo ユーティリティ」を使用して、お使いの環境設定を調べます。開いているソフトウェアをすべて閉じ、メインメニューの 「アプリケーション」を開きます。続いて「Bamboo」を開き、「Bamboo ユーティリティ」を実行します。

- 作業を始める前にタブレット設定のバックアップを作成することをお勧めします。Bamboo ユーティリティでは、「現在のユーザ」または「すべてのユーザ」を選択します。次に、「バックアップ」をクリックし、設定指示に従います。
- 次に、下記のとおり、タブレット設定を削除します。

  シングルユーザの場合　「Bamboo の削除」ユーティリティが起動したら、「ログインユーザー」を選択し、「削除」をクリックします。ログアウトして、ログオンします。 タブレットドライバが読み込まれると、標準設定の状態で新しい設定ファイルが作成されます。

  複数ユーザの場合　「Bamboo の削除」ユーティリティが起動したら、「すべてのユーザー」を選択し、「削除」をクリックします。ログアウトして、ログオンします。 タブレットドライバが読み込まれると、標準設定の状態で新しい設定ファイルが作成されます。

補足：ユーティリティの中の「復元 ...」をクリックして、バックアップ済みの「ログインユーザー」または「すべてのユーザー」の設定ファイルを素早く復元することができます。

補足：「PenTablet.Prefpane」ファイルを「ライブラリ」の「PreferencePanes」フォルダから手動で削除しないでください。このファイルを削除するのは、タブレットドライバをアンインストールする場合と、「Bamboo ユーティリティ」を使用する場合だけです。

Ink が、タブレットで正しく動作しない。

Ink の設定ファイルに問題があるかもしれません。次のようにして、損傷した設定ファイルを削除します。「Handwriting recognition is:」をオンにすると、設定ファイルは再作成されます。

1. 「システム環境設定」を開き、「すべてを表示」を選び、「Ink」を選択します。次に「Handwriting recognition is:」をオフにします。
2. 「移動」メニューから、「ホーム」を選択し、「ライブラリ」を開きます。続いて「Preferences」フォルダを開き、次の設定を削除します。
   - COM.APPLE.INK.FRAMEWORK.PLIST
   - COM.APPLE.INK.INKPAD.PLIST
   - COM.APPLE.INK.INKPAD.SKETCH
3. 再度、「システム環境設定」→「Ink」と選択し、手書き認識をオンにします。
4. タブレットとペンを使って、Ink 機能をテストします。

この処理で Ink の問題が解決されない場合は、アップルのサポートに連絡してください。ワコムは Ink についてのサポートは行っておりません。

テクニカルサポート

タブレットに問題がある場合、初めにタブレットのクイックスタートガイドを読んで、正しくインストールされていることを確認してください。 次に、このユーザーズガイドの中のトラブルシューティングをご覧ください。問題の内容が記述され、解決法が示されています。

このユーザーズガイドの中に解決法が見つからない場合、プラットフォームの「Read Me」ファイル（Bamboo タブレットドライバ CD-ROM にあります）に、問題に関する最新情報が記載されていることがあります。ワコムのホームページの製品 FAQ（よくある質問）もチェックしてください。

インターネットが接続できる場合は、ワコムのホームページから最新のドライバソフトウェアをダウンロードすることができます。 ドライバのダウンロードをご覧ください。

問題が解決せず、タブレットが適切に動作していないと思われる場合、ワコムのカスタマーサポートに連絡してください。 連絡先については、クイックスタートガイドの「サポート窓口について」または Bamboo タブレットドライバ CD-ROM の「Read Me」ファイルをご覧ください。

電話によるサポートを受ける場合、次の情報を用意してください。

- 本書
- タブレットのシリアルとモデル番号（タブレットの背面をご覧ください）
- ドライバのバージョン　（Bamboo タブレットドライバ CD-ROM をご覧ください。あるいはコントロールパネルの「タブレットについて」ボタンをクリックしてください）
- コンピュータの製造元と型式、および OS のバージョン
- コンピュータに接続された周辺機器のリスト
- 問題が発生したときに使用していたソフトウェアとバージョン
- 画面に表示された正確なエラーメッセージ
- 問題が発生したときに起こったことにどう対処したか
- どのように問題を解決しようとしたか

FAX にて修理をご依頼になる場合は、お問い合わせ／修理依頼票をコピーし、必要事項をご記入の上、お問い合わせ／修理依頼票に記載の FAX 番号までお送りください。

ドライバのダウンロード

ワコムは新しい製品との互換性を維持するために、定期的にタブレットドライバを更新します。機能を最適に使用するためにドライバを定期的に更新することをお勧めします。新しいタブレットドライバ（利用できる場合）は、ワコムのホームページからダウンロードすることができます。

ダウンロードページ：http://tablet.wacom.co.jp/download/down1.html/

重要： インターネットからダウンロードしたタブレットドライバでバージョンアップする場合、インストール前に古いドライバをアンインストールすると、電子マニュアルとチュートリアルがシステムから削除されます。また、Bamboo アイコンやコントロールパネルの表示が「Bamboo」から「ペンタブレット」に変わり、すべての設定がお買い上げ時の状態に戻ります（標準設定で「タブレットの向き」をカスタマイズしていた場合も、右利き用に変わります）。

バージョンアップをするときは、古いドライバに新しいドライバを上書き（更新インストール）することをおすすめします。

また、旧製品のドライバがインストールされている場合は、削除してから新しいドライバをインストールしてください。

付録

このセクションは、Bamboo シリーズのお手入れに関するヒント、タブレットドライバをアンインストールする方法、デジタルインクなどに関する情報を記載しています。

Bamboo シリーズのお手入れ

タブレットとペンは清潔にお使いください。ちりや砂ぼこりはペンに付いて、タブレットの表面を傷付けてすり減らす原因となります。水、または薄い石鹸水で湿らせた柔らかい布で定期的に拭くと、タブレットとペンを長期間ご利用いただけます。シンナー、あるいはベンジンのような揮発性の液体は使用しないでください。プラスチックケースを傷める可能性があります。

タブレットは清潔な涼しい場所に、極端な温度変化を避けて保管してください（室温が最適です）。タブレットおよびペンは分解しないでください。ペンを強くねじると、ペンが壊れる可能性があります。製品を分解すると、保証が無効になります。

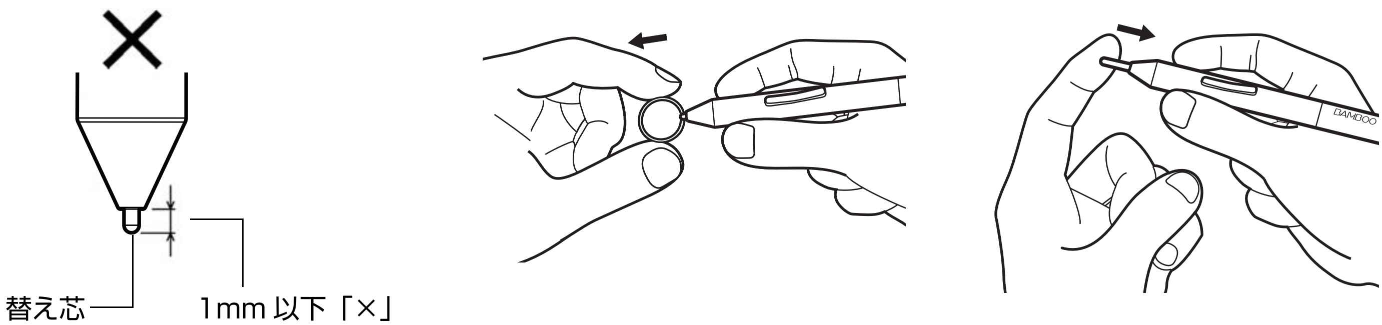
重要：タブレットやペンに液体をこぼさないように注意してください。タブレットのファンクションキー、サイドスイッチ、ペン先、およびテールスイッチ（消しゴム）を濡らさないよう、特に注意してください。液体が入ると故障するデリケートな電子部品を内蔵しています。

芯を交換する



替え芯（ペン先）は、通常の使用で磨耗します。 筆圧をかけすぎると磨耗が早まります。
ペン先が短くなったり、平らになった場合には、芯を交換してください。

1. 芯抜き、ピンセット、毛抜き、ラジオペンチなどをお使いください。ペンから真っ直ぐ引き抜きます。



2. 新しい芯の先を、ペンの軸に真っ直ぐに差し込みます。 芯が止まるまでしっかり差し込んでください。

⚠ 警告

小さなお子様がペンや替え芯などを口の中に入れないようにご注意ください。芯やサイドスイッチなどが抜けて飲み込んだり、またペンが故障する恐れがあります。

交換部品については、クイックスタートガイドをご覧ください。

重要：ペンを使用していない間は、ペンホルダーに入れるか、あるいは机の上に横にして置いてください。ペンホルダーに入れる場合は、テールスイッチ側から差し込んでください。ペンの感度を維持するために、ペン先やテールスイッチが押されてしまうような入れ物には収納しないでください。

Bamboo Dock

Bamboo Dock を使って、Bamboo シリーズの設定、さらに Bamboo シリーズ専用のソフトウェア（Bamboo apps）の表示や追加を行います。詳しくは http://tablet.wacom.co.jp/bambooapps/ をご覧ください。

「Bamboo Dock」を開くときは、「Bamboo Dock」機能を割り当てたタブレットのファンクションキーを押します。

その他には、以下の方法があります：

- **Windows の場合：** 「スタート」メニューをクリックし、「すべてのプログラム」を選択します。「Bamboo Dock」から「Bamboo Dock」を選択します。
- **Mac の場合：**「Finder」の「移動」メニューまたはサイドバーの「場所」から「アプリケーション」を選択し、「Bamboo Dock」フォルダを開き「Bamboo Dock」アイコンをダブルクリックします。

「Bamboo Dock を開く / 隠す」にペンで線を引くと、Bamboo Dock に登録されている Bamboo apps および設定アイコンの表示 / 非表示が切り替えられます。

お使いの Bamboo シリーズの設定を行います。「Bamboo 設定」（歯車のアイコン）をクリックします。ここではお使いの Bamboo シリーズの設定を変更したりさらに詳細な調整をすることができます。

Bamboo apps のインストール方法については、「Bamboo コレクション」（+のアイコン）をクリックします。ゲーム、スケッチ、音楽作り、情報共有やお友達との連絡用など Bamboo apps は、今後もますますソフトウェアを増やしていきます。

Bamboo Dock をアンインストールするには：

- **Windows の場合：**「スタート」メニューをクリックし、「すべてのプログラム」を選択します。「Bamboo Dock」から「Uninstall」を選択します。
  以降の操作は、画面の指示に従ってください。
- **Mac の場合：**「アプリケーション」フォルダから「Bamboo Dock」フォルダを削除します。

タブレットドライバのアンインストール

タブレットドライバをシステムからアンインストールする場合は、以下の方法で行ってください。

重要： ・タブレットドライバをアンインストールすると、ペンタブレットのタブレット機能は動作しなくなりますが、タッチ入力でお使いの場合はマウスとして機能します。

・インターネットからダウンロードしたタブレットドライバでバージョンアップする場合、インストール前に古いドライバをアンインストールしないでください。詳しくは「ドライバのダウンロード」をご覧ください。

Windows 7 および Vista：「スタート」ボタンをクリックし、「コントロールパネル」を開きます。「コントロールパネル」ウィンドウで、「プログラムと機能」をクリックします。ダイアログボックスから「Bamboo」を選択します。「アンインストール」をクリックして、画面の指示に従ってタブレットドライバを削除します。画面の指示があれば、ユーザ名とパスワードを入力します。タブレットドライバをアンインストール後に、必ずコンピュータを再起動してください。

Windows XP：Windows の「スタート」ボタンをクリックし、「コントロールパネル」を開きます。「コントロールパネル」ウィンドウで「プログラムの追加と削除」をクリックします。「プログラムの追加と削除」ウィンドウで「Bamboo」を選択し「削除」をクリックします。画面の指示に従ってタブレットドライバを削除します。タブレットドライバをアンインストール後に、コンピュータを再起動してください。

Mac：「Finder」の「移動」メニューから、「アプリケーション」を選択し、「Bamboo」フォルダを開きます。「Bamboo ユーティリティ」アイコンをダブルクリックして、タブレットドライバ項目の「削除」ボタンを選択します。「ユーザー名」と「パスワード」を入力します。削除が終了したら、「OK」をクリックします。タブレットドライバをアンインストールしたら、コンピュータを再起動してください。

補足：パスワードとは Mac のログインパスワードです。

設定ファイルの管理

設定ファイルユーティリティを使用すると、シングルユーザーまたはマルチユーザーのタブレット設定ファイルの管理が行えます。

Windows の場合：最初に起動中のソフトウェアをすべて終了します。次に、「スタート」アイコンをクリックし、「すべてのプログラム」を選択します。「Bamboo」→「Bamboo 設定ファイルユーティリティ」を選択します。

- ログインユーザーの設定ファイルを削除するには、「ログインユーザーの設定ファイル」から「削除」をクリックします。
- マルチユーザーの設定ファイルを削除するには、「すべてのユーザーの設定ファイル」から「削除」をクリックします。すべてのユーザーの設定ファイルを削除するには、administrator 権限が必要です。最後に現在開いているタブレット用ソフトウェアを再起動してください。
- 現在の設定ファイルをバックアップするには、「ログインユーザーの設定ファイル」から「バックアップ」をクリックします。
- 以前にバックアップを行った設定ファイルを復元するには、「ログインユーザーの設定ファイル」から「復元」をクリックします。

表示されるすべてのプロンプトに従ってください。

Mac の場合：最初に「アプリケーション」フォルダを開きます。次に「Bamboo」フォルダを開いて、「Bamboo ユーティリティ」を実行します。

- 設定ファイルを削除するには、「ログインユーザー」または「すべてのユーザー」のいずれかを選択してから、「削除」をクリックします。ログアウトしてから再度ログオンします。タブレットドライバが読み込まれると、新しい設定ファイルが標準設定で作成されます。
- 設定ファイルをバックアップするには、「ログインユーザー」または「すべてのユーザー」のいずれかを選択してから、「バックアップ」をクリックします。
- 以前にバックアップを行った設定ファイルを復元するには、「ログインユーザー」または「すべてのユーザー」のいずれかを選択してから、「復元」をクリックします。
- 表示されるダイアログの内容を確認してから、実行してください

Windows でのペンおよびデジタルインク入力機能

Microsoft Windows 7 (Starter を除く）および Windows Vista (Home Basic を除く）は、ペン入力機能に対応しています。Bamboo シリーズとワコムペンを使用して、素早く直感的な反応をお確かめください。

- **手書きメモ帳機能**。Windows 7 および Windows Vista の「Windows Journal」をタブレットで操作すれば、手書きメモや図形をファイルに直接書きこむことができます。手書き入力した内容を確認するには、Windows Jounal の検索エンジンを使用します。
- **手書き文字認識機能**。タブレットで素早く書いた手書き文字をテキストに変換する機能です。
- **ジェスチャー機能**。タブレットの操作面での簡単な動作によって、カスタマイズ可能な操作を実行できます。ジェスチャー機能をカスタマイズするときは、Windows 7 の「ペン＆タッチ」、または Windows Vista の「ペンと入力デバイス」コントロールパネルの「フリック」タブを選択します。
- **Office 2007 デジタルインク機能**。タブレットを接続し、ペンを使って手書き文字や図形などを自由に書き込むことができる機能です。デジタルインク機能は、該当する各ソフトウェアの「レビュー」タブにありますので、ご活用ください。

Windows 7 または Windows Vista Tablet PC 入力パネルによって、ワコムペンを使って手書きするか、画面上のキーボードでテキストを直接入力することができます。

また、以下のようにして入力パネルを起動することもできます。

- 画面のポインタをテキスト操作エリアに移動すると表示される入力パネルのアイコンをクリックします。
- 標準設定で表示画面の左端に配置されている入力パネルのタブをクリックします。
- Windows のタスクバーに配置されている「Tablet PC 入力パネル」アイコンをクリックします。アイコンが見えない場合は、タスクバーを右ボタンクリックして、「ツールバー」、「Tablet PC 入力パネル」を選択します。

入力パネルを無効にするには：

1. 「Tablet PC 入力パネル」を開きます。
2. 「ツール」「オプション」の順に選択します。
3. 「開き方」タブを選択して、次のボックスのチェックを外します：
   - 「タブレット ペン入力の場合、テキスト ボックスの横にアイコンを表示する」
   - 「入力パネル タブを使用する」
4. 「OK」をクリックします。

   詳しくは、Windows トレーニングツールおよび Tablet PC チュートリアルを含め、ご使用システムの付属文書を参照してください。「Tablet PC ペントレーニング」を起動するには、「スタート」メニューから「すべてのプログラム」、「TABLET PC」「TABLET PC ペントレーニング」の順に選択します。「スタート」メニューからトレーニングツールを起動できない場合は、Windows のヘルプを検索してください。

製品情報

Bamboo シリーズに関する詳細や、Windows 7 および Windows Vista で様々なペン機能とデジタルインク機能をフルに活用する方法については、ワコムのホームページ（http://tablet.wacom.co.jp）をご覧ください。

利用可能なオプション品

名称と説明	型番
ワイヤレスキット （ワイヤレスモジュール、ワイヤレスレシーバー、充電式リチウム電池）	ACK-40401
充電式リチウムイオン電池	ACK-40403
Bamboo Pen 筆圧ペン（消しゴムなし）	LP-170
Bamboo 筆圧ペン（消しゴム付き）	LP-170E
替え芯（黒、５本）	ACK-20401K
替え芯（白、５本）	ACK-20401W
キャリングケース	ACK-404021

オプション品の情報はワコムホームページにも掲載しております。

http://wacom.jp/

「製品に関する重要なお知らせ」をご覧ください。

用語

操作エリア　タッチまたはペン入力が検出されるタブレットの操作領域および描画領域。タッチセンサーをご覧ください。

縦横比　タブレット、またはディスプレイ画面の縦と横の比率。

クリック圧　クリックするとき、ペン先にかかる力の大きさ。

デジタルインク　コンピュータへのペン入力で作成した手書きのコンテンツについての総称。この手書きのコンテンツには、画像、インク・マークアップ、手書きがあります。手書きのコンテンツは、キーボード入力されたテキストに変換するか、手書きのままで使用することができます。システムおよびソフトウェアの設定に応じて、デジタルインクによる手書きのテキストを書き終わった文字からすぐに変換するようにもできますし、最後にまとめて変換することもできます。

ダブルクリック距離　ペン先でダブルクリックするときに、2 回目のクリックでずれてもよい距離を画面のドット数で表します。ダブルクリック距離を大きくすると、ペン先でダブルクリックはしやすくなりますが、グラフィックソフトによっては、線の引き初めにポインタがダブルクリック距離の外へ出るまで線が現れないことがあります。

消しゴム対応　消しゴム機能に対応しているソフトウェア。ソフトウェアによっては、テールスイッチ（消しゴム）を別の機能に使うことができます。

エクスパンド　タッチによる操作での動作の 1 つ。2 本の指をくっつけた状態でタブレットにタッチし、次にタブレットに触れたまま指を開きます。

ファンクションキー　タブレットに装備されたカスタマイズ可能なコントロールキー。

ファンクションキー、左利き用　ファンクションキーをタブレットの右側に配置する設定。

ファンクションキー、右利き用　ファンクションキーをタブレットの左側に配置する設定。

Windows Journal　紙のメモ帳の電子版だが、デジタルノートの特長も備えた Microsoft Windows ソフト。たとえば、簡単に描画や手書きのメモを作成して、テキストに変換した後、デジタルデータとしてほかの人たちに送ることができます。Windows Journal には、様々なペン、マーカー、ハイライトツールに加えて、テールスイッチで動作する消しゴム機能が備えられています。Windows Journal では、手書きのコンテンツも検索できます。

マッピング　タブレット上のペンの位置と画面上のポインタの位置との関係。

マッピング画面切り替え　マルチディスプレイ全体、または 1 つのディスプレイを使って作業できます。システムがマルチディスプレイで構成されている場合にお使いになれます。マッピング画面切り替えを使うをご覧ください。

修飾キー　修飾キーには、Windows では「Shift」、「Alt」、「Ctrl」キーが、Mac では「shift」、「control」、「command」、「option」キーが含まれます。サイドスイッチやファンクションキーを、修飾キーが実行されるようにカスタマイズすることができます。

ポインタの加速　マウスモードのとき、ポインタの加速を調整することができます。

マウスモード　ポインタの位置決めの方法。ペンをタブレット上に置くと、ポインタは、従来のマウスと同様に動いた方向と距離に応じて移動します。これは相対位置で、マウスの標準設定です。ペンモードもご覧ください。

ポインタの速度　マウスモードのとき、ポインタのスピードを調整することができます。

芯　ペン先で交換が可能な部分。

パン　タッチによる操作での動作の 1 つ。タブレットにタッチし、同じ方向に動かします。

ピンチ　タッチによる操作での動作の 1 つ。2 本の指を少し離した状態でタブレットにタッチし、次にタブレットに触れたまま 2 本の指をくっつけます。

ペアリング　2 台のデバイス間に仮想ケーブルリンクを確立する方法。

ペンモード　ペン入力によるポインタの位置決め方法。ペンをタブレット上に置くと、画面のポインタは、画面上の対応点にジャンプします。これは絶対座標で、ペンの標準設定です。ペンモードでは、先に画面上でポインタを見つける必要はなく、ポインタをすぐに配置させることができます。マウスモードもご覧ください。

ピクセル　画面上の最小の測定単位。

ペン入力　タブレット上でペンを使ってコンピュータを操作する方法。

ポップアップメニュー　実行可能なキーストローク機能と他の操作を表示するユーザ定義メニュー。このメニューを表示するように、ペンのサイドスイッチとタブレットのボタンをカスタマイズできます。ペンおよびタッチ入力の使える機種で使用可能です。

筆圧対応　ペン先およびテールスイッチ（消しゴム）にかかる圧力を感知します。筆圧に対応したソフトウェアで、自然な感じに文字を書いたり、色を塗ったりできます。ブラシの太さなども調節できます。

筆圧対応ソフト　筆圧機能に対応するソフトウェア。

読み取り高さ　ペンが検出されるタブレットの操作エリアからの高さ。ポインタの移動もご覧ください。

画面のポインタ　表示画面のポインタ。ポインタは、起動しているソフトウェアにより、I 型ポインタ、矢印、ボックスなど、様々な形に変わります。

スワイプ　タッチによる操作での動作の 1 つ。3本または4本の指でタブレットにタッチし、同じ方向に動かします。

Tablet PC 入力パネル　Microsoft Windows Tablet PC 入力パネルで、ペンを使って手書きメモを作成したり、画面上のキーボードを使って文字入力を行うことができます。入力パネルは、手書き文字をテキストに変換します。Tablet PC 入力パネルから入力した文字を文書や表計算、イラストに挿入できます。

タッチ入力　タブレット上で指先でコンピュータを操作する方法。

タッチセンサー　タッチ入力を検出するためのタブレットの操作領域。 タッチセンサーは操作エリア内にあり、ペン入力は検出しません。

タップ　タッチによる操作での動作の 1 つ。 指 1 本でタブレットにタッチしてから離します。

トラック　タッチによる操作での動作の 1 つ。 指 1 本でタブレット面にタッチし、そのまま移動させます。

ツイスト　タッチによる操作での動作の 1 つ。 2 本の指を少し開いてタブレットにタッチし、円を描くように順方向／逆方向に回します。 または 1 本の指を固定して、もう一方の指を固定した指の周囲を巡るように回します。

USB　Universal Serial Bus。 コンピュータの周辺装置を接続するためのハードウェアインタフェースの基準。USB ポートはホットプラグに対応し、これによりコンピュータの電源を切らなくても USB デバイスの接続と取り外しが可能です。

Wintab　タブレットの情報を受け取る Windows ソフトによって使用されるインタフェースの基準。 Bamboo シリーズは、Windows 環境で Wintab と互換性のあるソフトウェアにすべて対応します。

索引

このページを印刷してご利用ください（「お問い合わせ」または「修理依頼」に○をつけてください）。太枠内を記入してください。

○ **お問い合わせ**
○ **修理依頼**

FAX 送付先 ：03-5309-1514

受付 No.

発信	年 月 日

お客さま	フリガナ		会社名（学校名）・所属部署	
	氏名			
	使用場所	会社（学校）・自宅	連絡先	会社（学校）・自宅
	住所	〒 ※修理のご依頼の場合は、修理完了品の返送先をご記入ください。 E-mail：		
	TEL	（ ）	FAX	（ ）

タブレット	型式		CTH - 470、CTH - 670、CTL - 470	シリアル番号	
	タブレットドライバ		バージョン：		
	購入年月日		年 月 日		
使用環境	使用コンピューター		メーカー：	機種名：	
			モデム内蔵 Yes ・No	使用 OS	（バージョン： ）
	使用アプリケーション		（バージョン： ）		
	周辺機器など	種類	メーカー	機種名	接続ポート
		他の USB 機器			
		USB ハブ			
		ディスプレイ			
		ビデオカード			
		その他			
内容	現象発生日		年 月 日		
	現象発生頻度		常時・ときどき（システム起動時・使用中・その他： ）		

ここに記入されたお客さまの個人情報は、お客さまへのサポート、および修理品の返却のみに利用し、それ以外に利用することはありません。

Wacom International Offices

株式会社ワコム
TABLET SALES DIVISION
〒 164-0012
東京都中野区本町 1-32-2 ハーモニータワー 18 階
インターネット：
http://wacom.jp/
ワコムサポートセンター
電話：0570-05-6000
受付時間　平日 9:00 ～ 20:00
土曜 10:00 ～ 17:00

Wacom Co., Ltd.
ASIA PACIFIC DIVISION
Asia Pacific Office
Harmony Tower 21F, 1-32-2 Hon Cho,
Nakano-Ku, Tokyo 164-0012
Japan
Telephone
General: +81.3.5309.1513
Fax: +81.3.5309.1514

Wacom Technology Corporation
1311 SE Cardinal Court
Vancouver, WA 98683
U.S.A.
Telephone
General: +1.360.896.9833
Fax: +1.360.896.9724

Wacom Europe GmbH
Europark Fichtenhain A9,
47807 Krefeld,
Germany
Telephone
General: +49.(0)2151.3614.0
Fax: +49.(0)2151.3614.111

Wacom China Corporation
Unit 2807, 28th Floor, SK Tower,
No 6 Jia, Jianguomenwai Avenue,
Beijing, China 100022
http://www.wacom.com.cn

Wacom Korea Co., Ltd.
#1211, 12F, KGIT Sangam Center, 1601
Sangam-dong, Mapo-gu, Seoul 121-913, Korea
Telephone: +82.2.557.3894
Fax: +82.2.557.3895

Wacom Australia Pty. Ltd.
Unit 8, Stage 1
Cumberland Green
2-8 South Street, Rydalmere
NSW 2116 Australia
Telephone
General: +61.2.9422.6700
Fax: +61.2.9420.2272

Wacom Singapore Pte. Ltd. (Singapore)
3 Bishan Place,
CPF Bishan Building #06-08
Singapore 579838
Telephone
General: +65.6258.8640
Fax: +65.6258.8697

Wacom Taiwan Information Co., Ltd.
Suite 605, 6th floor, No. 205 Tun-Hwa North Road
Taipei, 105 Taiwan
Telephone: +886.2.2712.2675
Fax: +886.2.2712.9789

Wacom Hong Kong Limited
Room 2105, C C Wu Building
302-308 Hennessy Road
Wanchai, Hong Kong
Telephone: +852.25739322
Fax: +852.25739500